

鎌倉市人口ビジョン策定に関する現状分析

平成27年8月21日

目次

1. 人口動向分析

- 1-1. 時系列による人口動向分析
- 1-2. 年齢階級別の人口移動分析
- 1-3. 市町村間の人口移動の状況に係る分析
- 1-4. 圏域における転入・転出に関する調査分析
- 1-5. 結婚および出生に関する分析
- 1-6. 雇用や就労等に関する分析

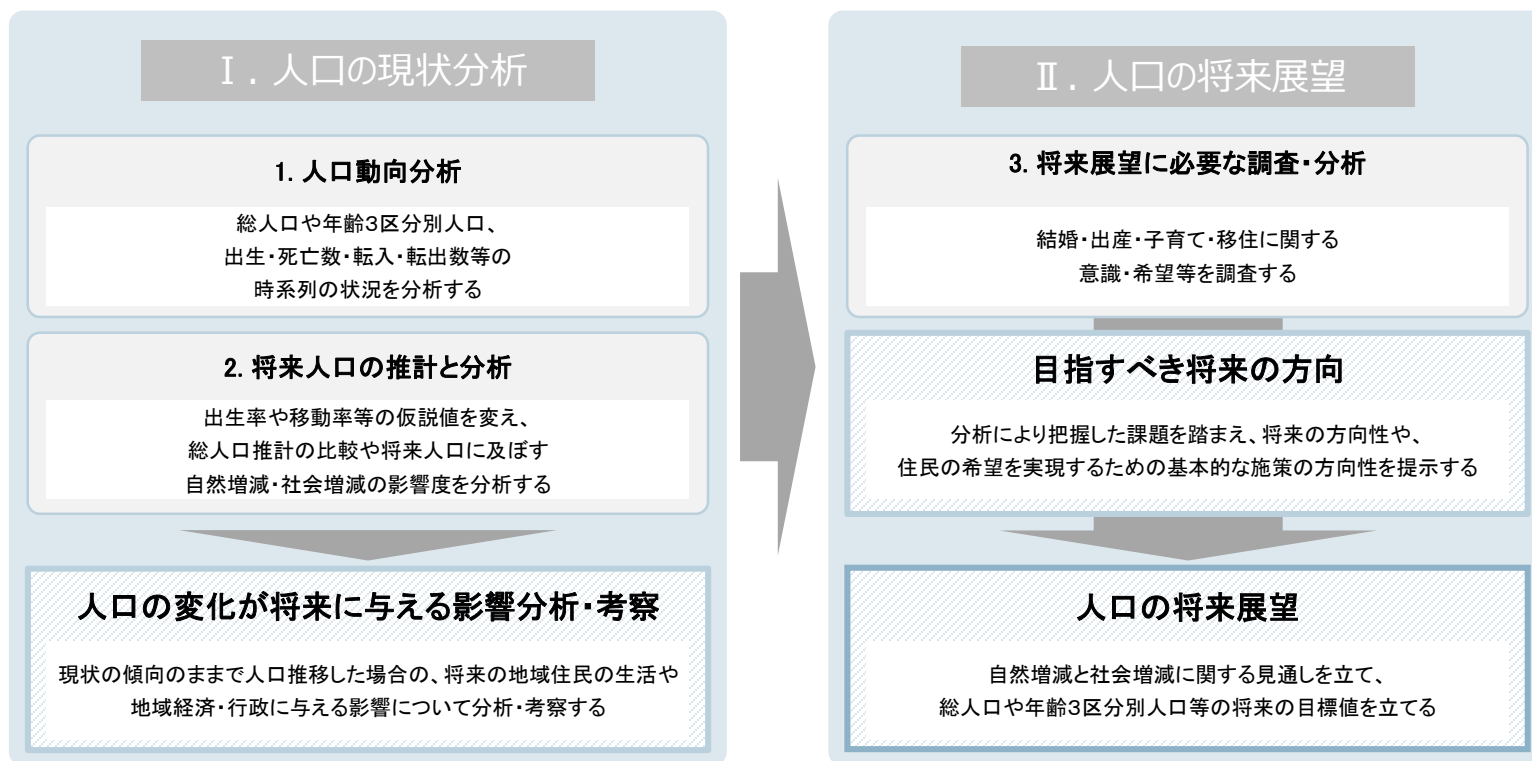
2. 将来人口推計


- 2-1. 将来人口推計
- 2-2. 将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度の分析

3. 将来展望に必要な調査・分析 ～都市間比較データ～

人口ビジョン策定ステップ

- 地方人口ビジョンの策定に当たっては、第1段階として人口の現状分析を行い、過去の動向やその要因を分析します。さらに、様々な仮定の下で将来人口推計を行い比較することで、人口に関する今後の課題を把握します。そして、今後の予想される人口の変化が地域の将来にどのような影響を及ぼすかを分析・考察します。
- 上記の分析を踏まえた上で、第2段階として、人口の将来展望を策定します。基本的な施策の方向性の検討等を行い、目指すべき将来の方向を提示します。その後、自然増減や社会増減に関する見通しを立て、将来の人口を展望します。



【凡例】  人口推計の作成が発生する工程

1. 人口動向分析 調査分析項目

■ 人口動向分析における調査分析項目を以下に提示します。

No.	大項目	分析項目	分析概要	対象年度	備考
1	時系列による人口動向分析	総人口の推移	1940年から2010年までの総人口の推移と2040年までの将来推計を示し、総人口の動向を分析する。	1940～2040年	平成26年10月ガイドラインに準拠
2	時系列による人口動向分析	年齢3区分別人口の推移と将来推計	総人口推移とあわせて、年少人口・生産年齢人口・老年人口の年齢3区分別人口の動向を分析する。	総人口 1940～2040年 年齢3区分 1980～2040年	平成26年10月ガイドラインに準拠
3	時系列による人口動向分析	出生・死亡、転入・転出の推移	総人口推移とあわせて、出生数・死亡数、転入数・転出数の動向を分析する。	社会自然増減 1995～2013年	平成26年10月ガイドラインに準拠
4	時系列による人口動向分析	総人口の推移に与えてきた自然増減と社会増減の影響	自然増減と社会増減の各年の算出値をプロットして分析する。	社会自然増減 1995～2013年	平成26年10月ガイドラインに準拠
5	時系列による人口動向分析	年齢階級別の人口移動の状況	年齢階級ごとの転入数と転出数の差分(純移動数)をグラフに示し、転入超過・転出超過の特徴を分析する。	2012～2013年	平成26年10月ガイドラインに準拠
6	時系列による人口動向分析	地域ブロック別の人口移動の状況	地域ブロックごとの転入数と転出数の差分(純移動数)をグラフに示し、転入超過・転出超過の特徴を分析する。	2012～2013年	平成26年10月ガイドラインに準拠
7	時系列による人口動向分析	地域ブロック別の人口移動の状況	県内他市町村との人口移動の状況と比較し、転入超過・転出超過の特徴を分析する。	2013年	平成26年10月ガイドラインに準拠
8	時系列による人口動向分析	県内市区町村別の人口移動の状況	神奈川県内の市区町村ごとの転入数と転出数の差分(純移動数)をグラフに示し、転入超過・転出超過の特徴を分析する。	2012～2013年	
9	年齢階級別の人口移動分析	性別・年齢階級別の人口移動の最近の状況	性別・年齢階級別の人口移動について、近年(2010年)の状況を分析する。	2005～2010年	平成26年10月ガイドラインに準拠
10	年齢階級別の人口移動分析	性別・年齢階級別の人口移動の状況の長期的動向	性別・年齢階級別の人口移動について、長期的動向(1980年以降)の状況を分析する。	1980～2010年	平成26年10月ガイドラインに準拠
11	市町村間の人口移動の状況に係る分析	昼夜間人口比率	鎌倉市およびその近隣自治体における昼夜間人口比率を把握し、従業・通学の場としての拠点性を把握する。	2000～2010年	平成27年1月ガイドラインに準拠
12	市町村間の人口移動の状況に係る分析	市区町村別通勤通学の状況	鎌倉市からの通勤・通学先の状況を把握する。	2010年	平成27年1月ガイドラインに準拠
13	圏域における転入・転出に関する調査分析	男女別転入・転出の状況	男女別、年齢階級別に転入元別の年間転入数及び転出先別の年間転出数を算出し分析する。	2013年	平成26年10月ガイドラインに準拠
14	圏域における転入・転出に関する調査分析	男女別純移動数の状況	男女別、年齢階級別に純移動数を算出し分析する。	2013年	平成26年10月ガイドラインに準拠
15	圏域における転入・転出に関する調査分析	時系列の純移動の状況	時系列で圏域の変化について分析する(5年単位、直近2年)。	1990年～2010年 2012年、2013年	平成26年10月ガイドラインに準拠
16	圏域における転入・転出に関する調査分析	鎌倉市の主要他市に対する純移動数	特定の政令指定都市等に対する純移動数を比較する。	2000年、2013年	平成26年10月ガイドラインに準拠
17	結婚および出生に関する分析	合計特殊出生率と出生数の推移	出生率や出生数の推移により少子化の状況を分析する。	出生数 1985～2013年 合計特殊出生率 2000～2013年	平成27年1月ガイドラインに準拠
18	結婚および出生に関する分析	未婚率と合計特殊出生数の推移	未婚率と合計特殊出生数の推移により少子化の状況を分析する。	未婚率 1990～2010年 合計特殊出生率 2000～2013年	
19	結婚および出生に関する分析	平均結婚年齢と婚姻数の推移	平均結婚年齢と婚姻数の推移により晩婚化の状況を分析する。	1999～2013年	
20	雇用や就労等に関する分析	従業地による男女別産業人口	産業別の就業状況や雇用状況、産業動向や雇用と人口の関係について分析する。	2010年	平成27年1月ガイドラインに準拠
21	雇用や就労等に関する分析	年齢階級別産業人口	産業別に男女別就業者の年齢階級を分析する。	2010年	平成27年1月ガイドラインに準拠

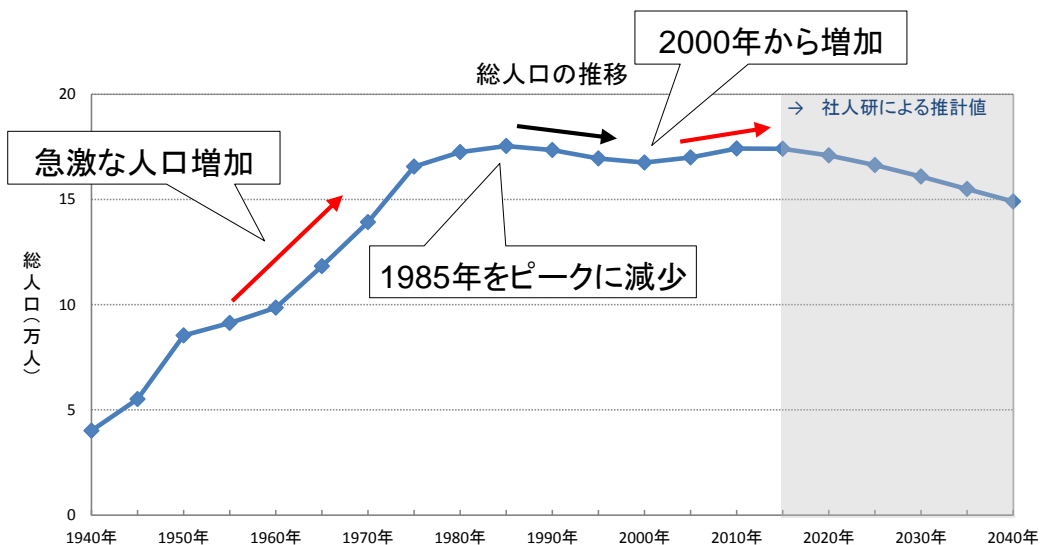
平成26年10月ガイドライン:「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定に向けた人口動向分析・将来人口推計について(内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局)

平成27年1月ガイドライン:地方人口ビジョンの策定のための手引き(内閣府地方創生推進室)

1. 人口動向分析

1-1. 時系列による人口動向分析 – 総人口の推移

- 鎌倉市では、戦後から1970年代の高度経済成長期にかけて人口が急増し、1980年代後半～1990年代前半のいわゆるバブル経済期から人口が減少しています。2000年～2010年までは人口増加していましたが、2010年以降は減少傾向に入っています。



	1940年	1947年	1950年	1955年	1960年	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年	1990年
総人口(人)	40,151	55,168	85,391	91,328	98,617	118,329	139,249	165,552	172,629	175,495	174,307
総人口(人)	170,329	167,583	171,158	174,314	174,050	170,947	166,336	160,867	154,974	148,992	

※1 1940年～2010年総務省「国勢調査」を使用、2015年以降は国立社会保障人口問題研究所（以降、「社人研」）の「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月）」を使用した。

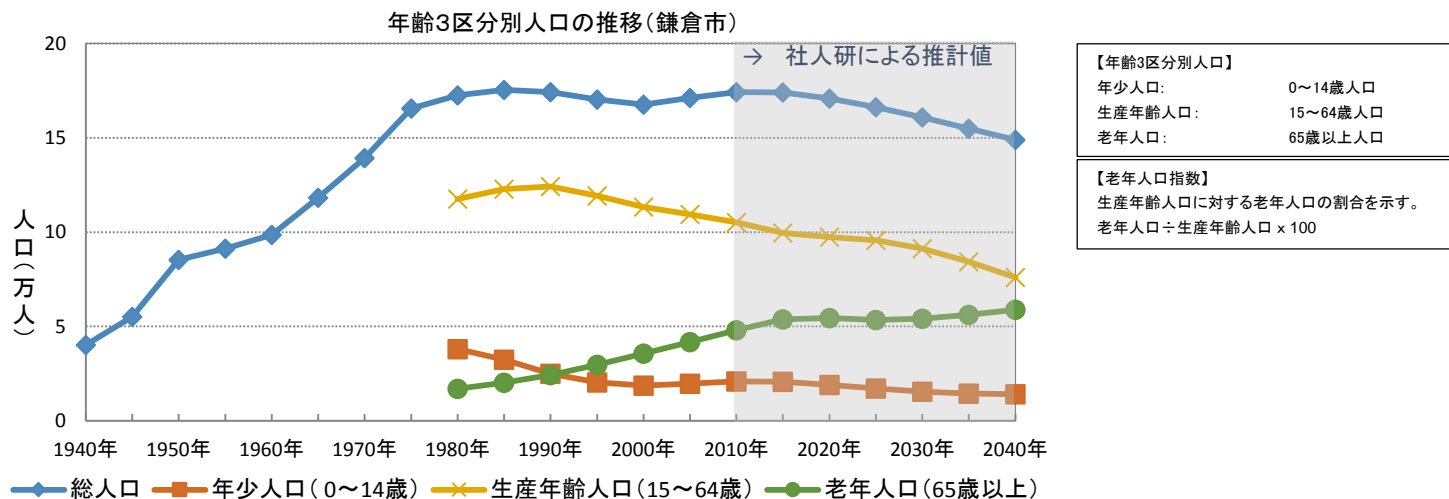
※2 1939年に鎌倉市の市政施行のため、1940年からの総人口の推移とし、1945年は1947年のデータで代用している。

※3 総人口数は外国人・年齢不詳を含む。

1. 人口動向分析

1-1. 時系列による人口動向分析 – 年齢3区分別人口の推移と将来推計

- 生産年齢人口と年少人口は1980年以降、現在まで減少し続け、老年人口は増加し続けています。社人研による推計値では2015年をピークに総人口が減少している一方で、老年人口は増加し続け、総人口における老年人口の占める割合は年々増加しています。



		1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
総人口(人)		172,629	175,495	174,307	170,329	167,583	171,158	174,314	174,050	170,947	166,336	160,867	154,974	148,992
年少人口 (0~14歳)	人数(人)	37,929	32,474	24,991	20,379	18,590	19,590	20,944	20,642	19,076	17,067	15,385	14,494	14,037
	総数に占める割合	22.0%	18.5%	14.4%	12.0%	11.1%	11.5%	12.0%	11.9%	11.2%	10.3%	9.6%	9.4%	9.4%
生産年齢人口 (15~64歳)	人数(人)	117,642	122,811	124,241	119,254	113,409	108,607	105,184	99,654	97,402	95,783	91,376	84,284	76,102
	総数に占める割合	68.2%	70.0%	71.6%	70.4%	67.7%	63.9%	60.4%	57.3%	57.0%	57.6%	56.8%	54.4%	51.1%
老年人口 (65歳以上)	人数(人)	16,967	20,136	24,212	29,777	35,573	41,722	48,108	53,754	54,469	53,486	54,106	56,196	58,853
	総数に占める割合	9.8%	11.5%	14.0%	17.6%	21.2%	24.6%	27.6%	30.9%	31.9%	32.2%	33.6%	36.3%	39.5%
老年人口指数※		14.4%	16.4%	19.5%	25.0%	31.4%	38.4%	45.7%	53.9%	55.9%	55.8%	59.2%	66.7%	77.3%

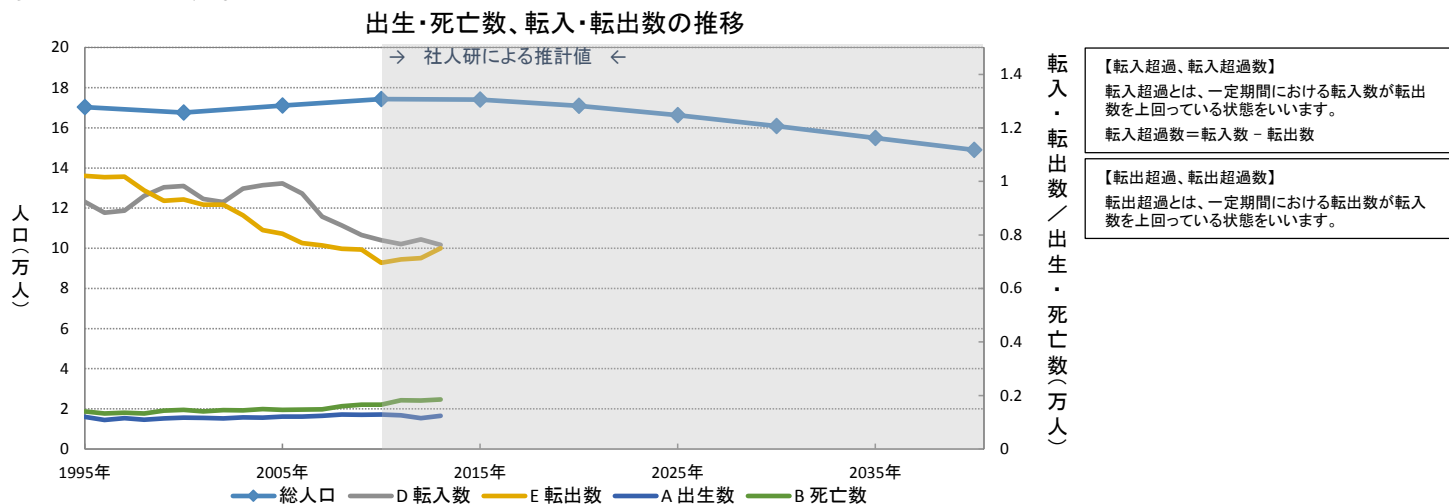
※1 総人口は1980年~2010年総務省「国勢調査」を使用、2015年以降は社人研の「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月)」を使用した。

※2 総人口数は外国人・年齢不詳を含めているが、年齢3区分別人口に関しては、年齢不詳人口を含めていない。

1. 人口動向分析

1-1. 時系列による人口動向分析 – 出生・死亡、転入・転出の推移

- 出生率、死亡率は、1995年から微増していますが、転出数、転入数はともに大幅に減少しています。1999年以前では転出超過でしたが、1999年以降は転入超過を維持してきました。しかし、2013年には転入数と転出数の差が減少しています。



		1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
自然増減	A 出生数	1,204	1,087	1,152	1,095	1,142	1,176	1,160	1,147	1,182	1,170	1,213	1,207	1,241	1,285	1,277	1,286	1,260	1,155	1,244
	B 死亡数	1,401	1,332	1,360	1,326	1,432	1,459	1,406	1,457	1,443	1,489	1,462	1,477	1,485	1,596	1,659	1,653	1,825	1,808	1,855
	C 自然増減数 (A-B)	-197	-245	-208	-231	-290	-283	-246	-310	-261	-319	-249	-270	-270	-244	-311	-382	-367	-565	-653
社会増減	D 転入数	9,234	8,829	8,903	9,461	9,784	9,828	9,344	9,225	9,727	9,859	9,923	9,551	8,684	8,356	7,997	7,802	7,660	7,833	7,627
	E 転出数	10,210	10,162	10,178	9,659	9,272	9,325	9,130	9,133	8,737	8,184	8,046	7,700	7,611	7,483	7,451	6,963	7,086	7,138	7,503
	F 社会増減数 (D-E)	-976	-1,333	-1,275	-198	512	503	214	92	990	1,675	1,877	1,851	1,073	873	546	839	574	695	124
合計	G 人口増減数 (C+F)	-1,173	-1,578	-1,483	-429	222	220	-32	-218	729	1,356	1,628	1,581	829	562	164	472	9	42	-487

※1 総人口は1980年～2010年総務省「国勢調査」を使用、2015年以降は社人研の日本の地域別将来推計人口(平成25年3月)を使用した。

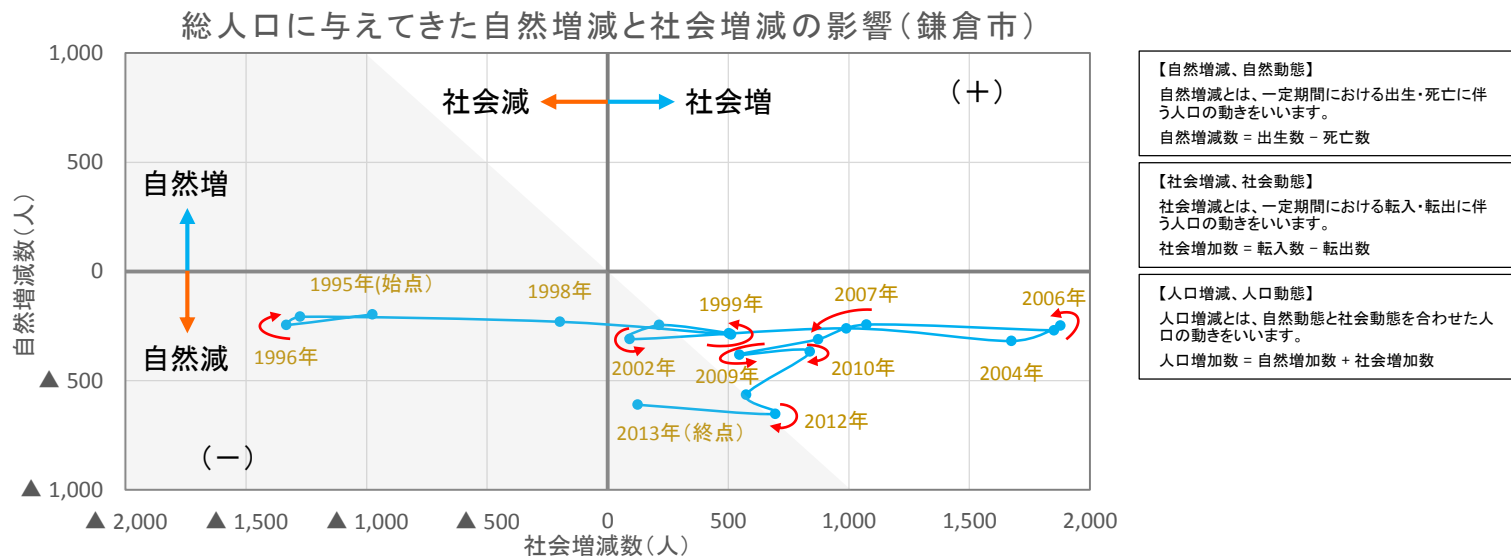
※2 総人口数は外国人・年齢不詳を含めている。

※3 自然増減および社会増減の移動数は1995年～2013年総務省「住民基本台帳人口移動報告」を使用した。

1. 人口動向分析

1-1. 時系列による人口動向分析 – 総人口の推移に与えてきた自然増減と社会増減の影響

- 1996年から1999年にかけて転入数を増加させ、1999年以降社会増を維持しています。一方で、1995年以来、自然減の状態を脱することなく、近年、更に自然減が拡大しています。



(再掲)		1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
自然増減	A 出生数	1,204	1,087	1,152	1,095	1,142	1,176	1,160	1,147	1,182	1,170	1,213	1,207	1,241	1,285	1,277	1,286	1,260	1,155	1,244
	B 死亡数	1,401	1,332	1,360	1,326	1,432	1,459	1,406	1,457	1,443	1,489	1,462	1,477	1,485	1,596	1,659	1,653	1,825	1,808	1,855
	C 自然増減数 (A-B)	-197	-245	-208	-231	-290	-283	-246	-310	-261	-319	-249	-270	-244	-311	-382	-367	-565	-653	-611
社会増減	D 転入数	9,234	8,829	8,903	9,461	9,784	9,828	9,344	9,225	9,727	9,859	9,923	9,551	8,684	8,356	7,997	7,802	7,660	7,833	7,627
	E 転出数	10,210	10,162	10,178	9,659	9,272	9,325	9,130	9,133	8,737	8,184	8,046	7,700	7,611	7,483	7,451	6,963	7,086	7,138	7,503
	F 社会増減数 (D-E)	-976	-1,333	-1,275	-198	512	503	214	92	990	1,675	1,877	1,851	1,073	873	546	839	574	695	124
合計	G 人口増減数 (C+F)	-1,173	-1,578	-1,483	-429	222	220	-32	-218	729	1,356	1,628	1,581	829	562	164	472	9	42	-487

※1 総人口は1980年～2010年総務省「国勢調査」を使用、2015年以降は社人研の日本の地域別将来推計人口(平成25年3月)を使用した。

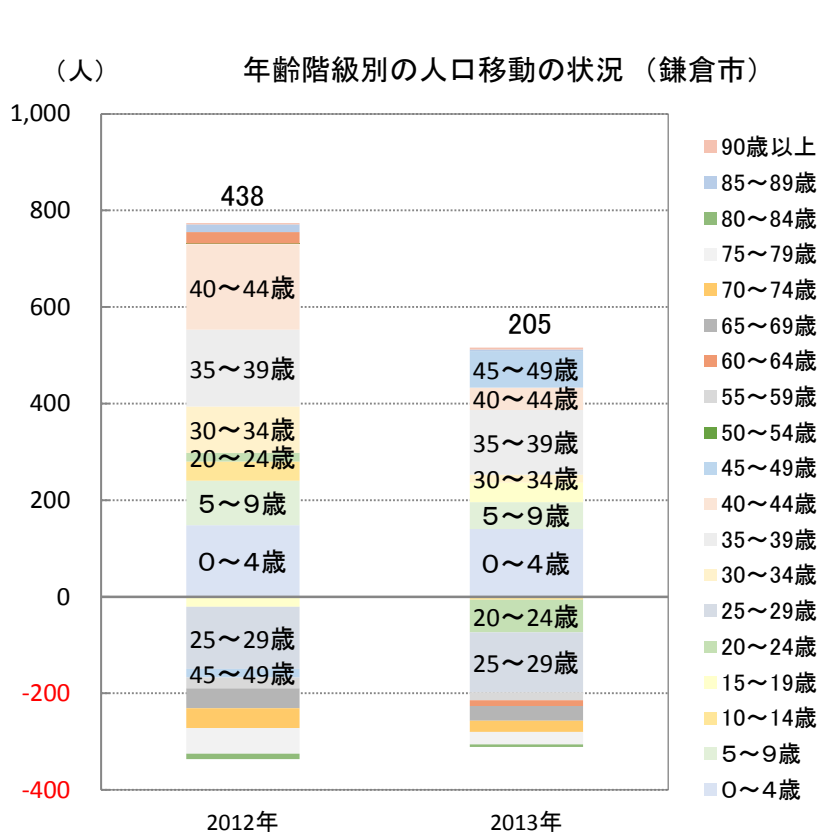
※2 総人口数は外国人・年齢不詳を含めている。

※3 自然増減および社会増減の移動数は1995年～2013年総務省「住民基本台帳人口移動報告」を使用した。

1. 人口動向分析

1-1. 時系列による人口動向分析 – 年齢階級別の人口移動の状況

- 2012年および2013年の人口移動の状況として、30歳代～40歳代と0歳代の転入超過が見られ、ファミリー層が転入が進んでいます。一方で、20歳代と老年人口では転出超過が見られます。



年齢階級別、年齢3区分別の人口移動数 (人)

	2012年				2013年			
	転入数	転出数	純移動数	転入+出	転入数	転出数	純移動数	転入+出
0～4歳	541	393	148	934	495	355	140	850
5～9歳	298	206	92	504	230	174	56	404
10～14歳	149	109	40	258	97	103	-6	200
15～19歳	198	219	-21	417	217	177	40	394
20～24歳	662	644	18	1,306	618	686	-68	1,304
25～29歳	1,026	1,154	-128	2,180	1,041	1,165	-124	2,206
30～34歳	1,139	1,043	96	2,182	1,061	1,044	17	2,105
35～39歳	961	802	159	1,763	861	727	134	1,588
40～44歳	699	522	177	1,221	568	522	46	1,090
45～49歳	338	356	-18	694	405	329	76	734
50～54歳	250	249	1	499	260	260	0	520
55～59歳	184	207	-23	391	175	191	-16	366
60～64歳	227	203	24	430	187	199	-12	386
65～69歳	136	177	-41	313	144	175	-31	319
70～74歳	92	133	-41	225	124	147	-23	271
75～79歳	78	131	-53	209	93	119	-26	212
80～84歳	92	103	-11	195	79	84	-5	163
85～89歳	79	63	16	142	64	61	3	125
90歳以上	44	41	3	85	38	34	4	72
全体	7,193	6,755	438	13,948	6,757	6,552	205	13,309
0～14歳	988	708	280	1,696	822	632	190	1,454
15～64歳	5,684	5,399	285	11,083	5,393	5,300	93	10,693
65歳～	521	648	-127	1,169	542	620	-78	1,162

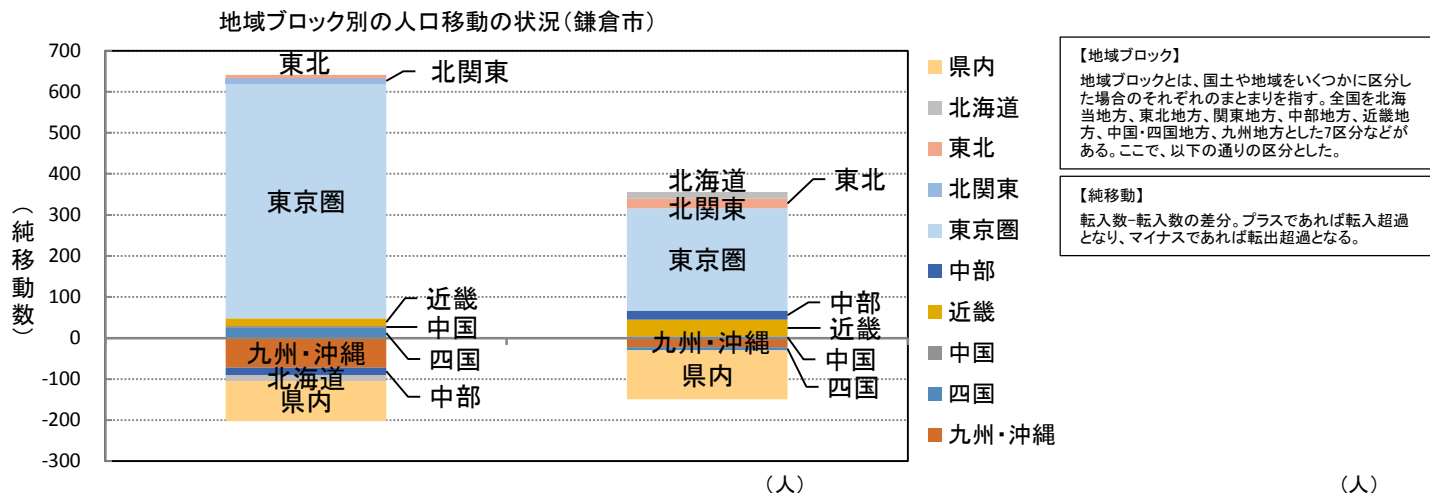
【ファミリー層】
 一般には未婚の子供とその親からなる世帯のことをいいます。住宅やコミュニティを考えるうえで、最も基本的な世帯の型として考えられています。

※1 自然増減および社会増減の移動数は2010年～2013年総務省「住民基本台帳人口移動報告」を使用した。

1. 人口動向分析

1-1. 時系列による人口動向分析 – 地域ブロック別の人口移動の状況 鎌倉市

- 2012年および2013年の地域ブロック別の人口移動の状況として、県内他市へは転出超過となっている一方で、東京圏からは転入超過となっています。



	2012年					2013年				
	転入数		転出数		純移動	転入数		転出数		純移動
	人数	割合	人数	割合	人数	人数	割合	人数	割合	人数
九州・沖縄	165	2.3%	237	3.5%	-72	162	2.4%	184	2.8%	-22
四国	54	0.8%	29	0.4%	25	32	0.5%	40	0.6%	-8
中国	79	1.1%	75	1.1%	4	83	1.2%	79	1.2%	4
近畿	334	4.6%	315	4.7%	19	329	4.9%	288	4.4%	41
中部	365	5.1%	383	5.7%	-18	424	6.3%	402	6.1%	22
東京圏	2,128	29.6%	1,557	23.0%	571	1,894	28.0%	1,645	25.1%	249
北関東	147	2.0%	133	2.0%	14	127	1.9%	127	1.9%	0
東北	153	2.1%	145	2.1%	8	164	2.4%	140	2.1%	24
北海道	83	1.2%	98	1.5%	-15	110	1.6%	94	1.4%	16
県内	3,686	51.2%	3,783	56.0%	-97	3,434	50.8%	3,553	54.2%	-119
総数	7,194	100.0%	6,755	100.0%	439	6,759	100.0%	6,552	100.0%	207

東京圏	2012年		2013年	
	純移動		純移動	
	人数	割合	人数	割合
埼玉県	83	15%	17	7%
千葉県	79	14%	30	12%
東京都	409	72%	202	81%
総数	571	100%	249	100%

県内： 神奈川県
 北海道： 北海道
 東北： 青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
 北関東： 茨城、栃木、群馬
 東京圏： 埼玉、千葉、東京
 中部： 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、静岡
 近畿： 三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
 中国： 鳥取、島根、岡山、広島、山口
 四国： 徳島、香川、愛媛、高知
 九州・沖縄： 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

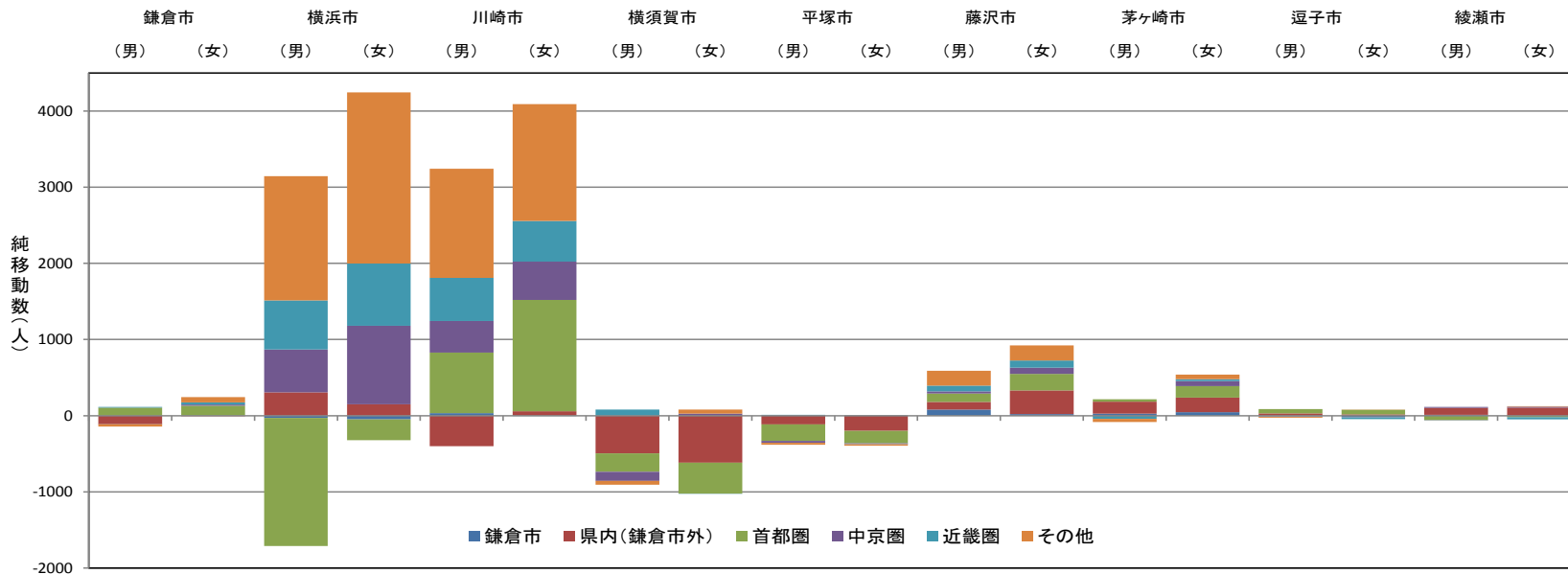
※1 自然増減および社会増減の移動数は2012年～2013年総務省「住民基本台帳人口移動報告」を使用した。各年3月末時点データを使用し、外国人人口は含めていない。

1. 人口動向分析

1-1. 時系列による人口動向分析 – 地域ブロック別の人口移動の状況 県内他市 1/2

【3大都市圏】
 首都圏を東京都、埼玉県、千葉県、群馬県、栃木県、茨城県、山梨県、中京圏を愛知県、岐阜県、三重県、近畿圏を大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県とした。神奈川県は、首都圏には含めていない。

男女別 転入元・転出先別 純移動数(転入数-転出数)の状況 (2013年)



	鎌倉市		横浜市		川崎市		横須賀市		平塚市		藤沢市		茅ヶ崎市		逗子市		綾瀬市	
	(男)	(女)	(男)	(女)	(男)	(女)	(男)	(女)	(男)	(女)	(男)	(女)	(男)	(女)	(男)	(女)	(男)	(女)
鎌倉市	-	-	-31	-50	33	-2	3	0	2	5	80	21	27	46	-5	-20	10	-1
県内(鎌倉市外)	-110	-9	305	148	-402	58	-496	-618	-114	-199	102	312	158	190	31	18	91	104
首都圏	106	132	-1679	-271	796	1461	-241	-404	-219	-164	110	214	31	151	56	58	-54	-20
中京圏	-2	14	563	1031	415	505	-120	28	-23	-9	27	82	-3	68	-6	-4	15	15
近畿圏	10	28	646	819	565	534	78	-2	8	-4	75	97	-39	25	-2	-21	-7	-27
その他	-31	69	1632	2246	1433	1533	-51	51	-27	-19	194	197	-40	58	-13	3	-3	6

※1 2013年総務省「住民基本台帳人口移動報告」を使用した。

1. 人口動向分析

1-1. 時系列による人口動向分析 - 地域ブロック別の人口移動の状況 県内他市 2/2

鎌倉市	転入元			転出先			純移動数		
	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数
鎌倉市(人)	0	0	-	0	0	-	-	-	-
県内(鎌倉市外)(人)	1,705	1,729	3,434	1,815	1,738	3,553	-110	-9	-119
県内における鎌倉市の割合	0%	0%	-	0%	0%	-	-	-	-
首都圏(人)	998	1,049	2,047	892	917	1,809	106	132	238
中京圏(人)	181	158	339	183	144	327	-2	14	12
近畿圏(人)	165	143	308	155	115	270	10	28	38
その他(人)	303	328	631	334	259	593	-31	69	38

藤沢市	転入元			転出先			純移動数		
	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数
鎌倉市(人)	407	357	764	327	336	663	80	21	101
県内(鎌倉市外)(人)	4,065	3,833	7,898	3,963	3,521	7,484	102	312	414
県内における鎌倉市の割合	10%	9%	9%	8%	10%	8%	44%	6%	20%
首都圏(人)	2,134	1,948	4,082	2,024	1,734	3,758	110	214	324
中京圏(人)	517	446	963	490	364	854	27	82	109
近畿圏(人)	437	351	788	362	254	616	75	97	172
その他(人)	1,125	853	1,978	931	656	1,587	194	197	391

横浜市	転入元			転出先			純移動数		
	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数
鎌倉市(人)	804	789	1,593	835	839	1,674	-31	-50	-81
県内(鎌倉市外)(人)	52,652	48,088	100,740	52,347	47,940	100,287	305	148	453
県内における鎌倉市の割合	2%	2%	2%	2%	2%	2%	-11%	-51%	-22%
首都圏(人)	23,490	20,683	44,173	25,169	20,954	46,123	-1,679	-271	-1,950
中京圏(人)	5,440	4,517	9,957	4,877	3,486	8,363	563	1,031	1,594
近畿圏(人)	5,186	4,219	9,405	4,540	3,400	7,940	646	819	1,465
その他(人)	12,105	9,759	21,864	10,473	7,513	17,986	1,632	2,246	3,878

茅ヶ崎市	転入元			転出先			純移動数		
	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数
鎌倉市(人)	69	95	164	42	49	91	27	46	73
県内(鎌倉市外)(人)	2,324	2,227	4,551	2,166	2,037	4,203	158	190	348
県内における鎌倉市の割合	3%	4%	3%	2%	2%	2%	15%	19%	17%
首都圏(人)	1,007	984	1,991	976	833	1,809	31	151	182
中京圏(人)	207	234	441	210	166	376	-3	68	65
近畿圏(人)	130	159	289	169	134	303	-39	25	-14
その他(人)	363	367	730	403	309	712	-40	58	18

川崎市	転入元			転出先			純移動数		
	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数
鎌倉市(人)	163	132	295	130	134	264	33	-2	31
県内(鎌倉市外)(人)	18,616	16,294	34,910	19,018	16,236	35,254	-402	58	-344
県内における鎌倉市の割合	1%	1%	1%	1%	1%	1%	-9%	-4%	-10%
首都圏(人)	17,999	15,979	33,978	17,203	14,518	31,721	796	1,461	2,257
中京圏(人)	2,606	2,023	4,629	2,191	1,518	3,709	415	505	920
近畿圏(人)	2,576	1,985	4,561	2,011	1,451	3,462	565	534	1,099
その他(人)	6,709	5,303	12,012	5,276	3,770	9,046	1,433	1,533	2,966

逗子市	転入元			転出先			純移動数		
	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数
鎌倉市(人)	60	67	127	65	87	152	-5	-20	-25
県内(鎌倉市外)(人)	522	566	1,088	491	548	1,039	31	18	49
県内における鎌倉市の割合	11%	12%	10%	13%	16%	13%	-19%	100%	-104%
首都圏(人)	300	301	601	244	243	487	56	58	114
中京圏(人)	30	34	64	36	38	74	-6	-4	-10
近畿圏(人)	32	25	57	34	46	80	-2	-21	-23
その他(人)	60	65	125	73	62	135	-13	3	-10

横須賀市	転入元			転出先			純移動数		
	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数
鎌倉市(人)	68	57	125	65	57	122	3	0	3
県内(鎌倉市外)(人)	2,461	2,111	4,572	2,957	2,729	5,686	-496	-618	-1,114
県内における鎌倉市の割合	3%	3%	3%	2%	2%	2%	-1%	0%	0%
首都圏(人)	2,474	1,094	3,568	2,715	1,498	4,213	-241	-404	-645
中京圏(人)	473	246	719	593	218	811	-120	28	-92
近畿圏(人)	493	173	666	415	175	590	78	-2	76
その他(人)	1,987	913	2,900	2,038	862	2,900	-51	51	0

綾瀬市	転入元			転出先			純移動数		
	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数
鎌倉市(人)	12	8	20	2	9	11	10	-1	9
県内(鎌倉市外)(人)	1,235	1,121	2,356	1,144	1,017	2,161	91	104	195
県内における鎌倉市の割合	1%	1%	1%	0%	1%	1%	10%	-1%	4%
首都圏(人)	307	210	517	361	230	591	-54	-20	-74
中京圏(人)	75	60	135	60	45	105	15	15	30
近畿圏(人)	40	15	55	47	42	89	-7	-27	-34
その他(人)	248	116	364	251	110	361	-3	6	3

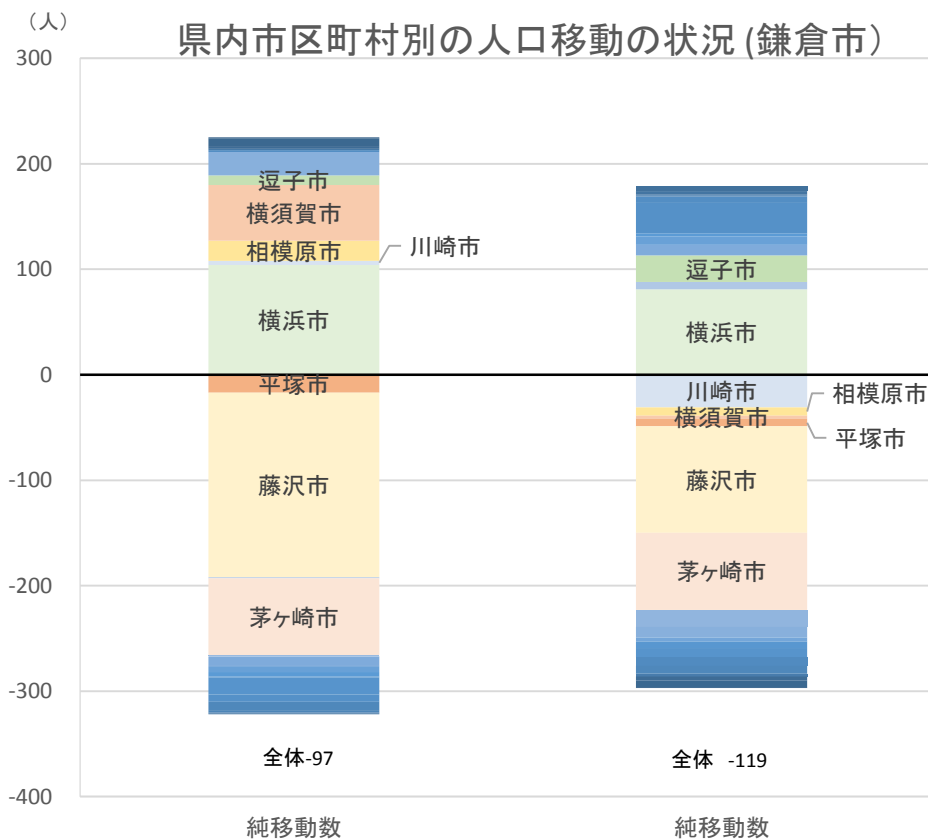
平塚市	転入元			転出先			純移動数		
	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数
鎌倉市(人)	36	37	73	34	32	66	2	5	7
県内(鎌倉市外)(人)	2,062	1,837	3,899	2,176	2,036	4,212	-114	-199	-313
県内における鎌倉市の割合	2%	2%	2%	2%	2%	2%	-2%	-3%	-2%
首都圏(人)	803	663	1,466	1,022	827	1,849	-219	-164	-383
中京圏(人)	285	217	502	308	226	534	-23	-9	-32
近畿圏(人)	156	104	260	148	108	256	8	-4	4
その他(人)	514	310	824	541	329	870	-27	-19	-46

※1 2013年総務省「住民基本台帳人口移動報告」を使用した。

1. 人口動向分析

1-1. 時系列による人口動向分析 – 県内市区町村別の人口移動の状況

- 2012年および2013年の県内市区町村別の人口移動の状況として、横浜市からの転入超過と藤沢市および茅ヶ崎市への転出超過が全体の移動数の過半を占めています。



	2012年			2013年		
	転入数	転出数	純移動数	転入数	転出数	純移動数
横浜市	1,783	1,679	104	1,674	1,593	81
川崎市	255	251	4	264	295	-31
相模原市	81	62	19	66	74	-8
横須賀市	162	109	53	122	125	-3
平塚市	83	100	-17	66	73	-7
鎌倉市	0	0	0	0	0	0
藤沢市	711	886	-175	663	764	-101
小田原市	40	41	-1	38	31	7
茅ヶ崎市	134	207	-73	91	164	-73
逗子市	144	135	9	152	127	25
三浦市	8	9	-1	9	9	0
秦野市	16	16	0	17	33	-16
厚木市	34	12	22	17	27	-10
大和市	57	66	-9	49	39	10
伊勢原市	11	12	-1	9	13	-4
海老名市	13	18	-5	32	24	8
座間市	15	19	-4	12	9	3
南足柄市	2	3	-1	1	7	-6
綾瀬市	16	32	-16	11	20	-9
葉山町	54	61	-7	77	48	29
寒川町	17	15	2	20	14	6
大磯町	14	14	0	10	18	-8
二宮町	13	21	-8	8	15	-7
中井町	3	5	-2	1	2	-1
大井町	2	3	-1	1	0	1
松田町	0	0	0	2	4	-2
山北町	1	0	1	1	0	1
開成町	0	1	-1	5	2	3
箱根町	3	3	0	7	3	4
真鶴町	2	0	2	1	5	-4
湯河原町	9	1	8	5	11	-6
愛川町	3	2	1	3	4	-1
清川村	0	0	0	0	0	0
総数	3,686	3,783	-97	3,434	3,553	-119

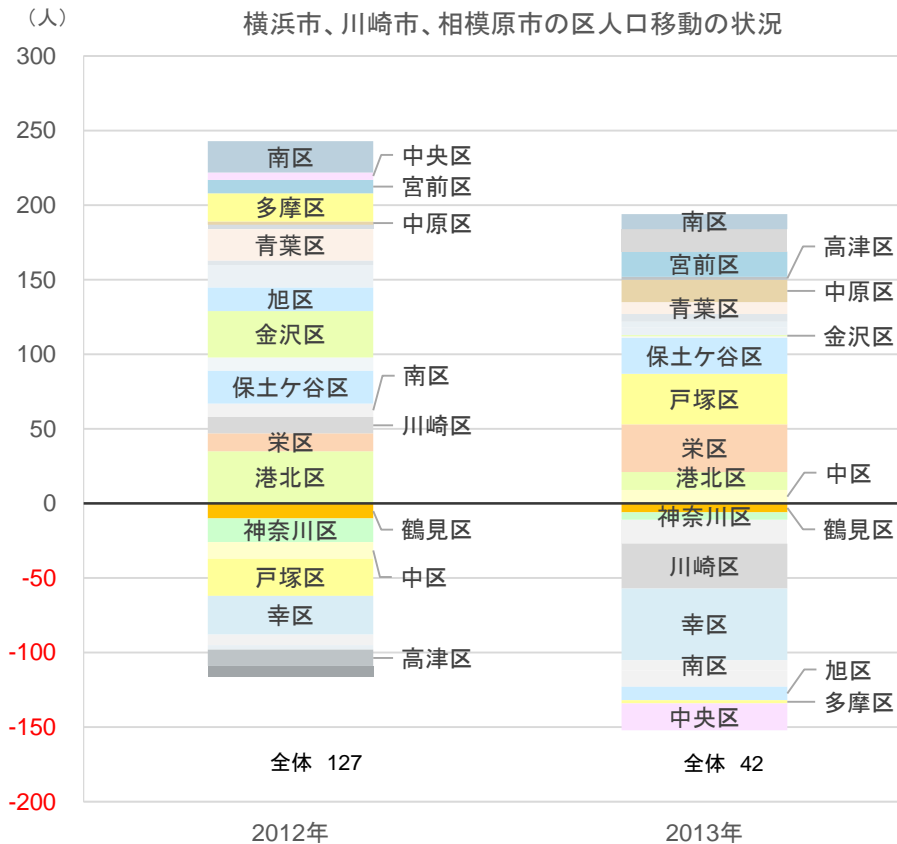
※1 自然増減および社会増減の移動数は2012年～2013年総務省「住民基本台帳人口移動報告」を使用した。

1. 人口動向分析

1-1. 時系列による人口動向分析 – 県内市区町村別の人口移動の状況

- 2012年および2013年の横浜市、川崎市および相模原市内における区別の人口移動の状況として、港北区、栄区および保土ヶ谷区からの転入超過と、幸区、神奈川区、鶴見区へ転出超過が継続しています。

	2012年			2013年		
	転入数	転出数	純移動数	転入数	転出数	純移動数
横浜市	1,783	1,679	104	1,674	1,593	81
鶴見区	59	69	-10	69	75	-6
神奈川区	77	93	-16	89	94	-5
西区	74	74	0	52	68	-16
中区	66	77	-11	72	63	9
南区	63	54	9	58	65	-7
保土ヶ谷区	80	58	22	85	61	24
磯子区	74	65	9	80	79	1
金沢区	106	75	31	79	78	1
港北区	125	90	35	117	105	12
戸塚区	262	287	-25	263	229	34
港南区	93	100	-7	83	94	-11
旭区	46	30	16	38	47	-9
緑区	37	22	15	24	19	5
瀬谷区	19	22	-3	21	17	4
栄区	435	423	12	401	369	32
泉区	73	70	3	59	54	5
青葉区	54	33	21	47	39	8
都筑区	40	37	3	37	37	0
川崎市	255	251	4	264	295	-31
川崎区	40	29	11	23	53	-30
幸区	41	67	-26	37	85	-48
中原区	62	60	2	74	59	15
高津区	21	32	-11	35	33	2
多摩区	34	15	19	24	26	-2
宮前区	33	24	9	37	20	17
麻生区	24	24	0	34	19	15
相模原市	81	62	19	66	74	-8
緑区	9	16	-7	12	12	0
中央区	21	16	5	15	33	-18
南区	51	30	21	39	29	10
全体	2,119	1,992	127	2,004	1,962	42



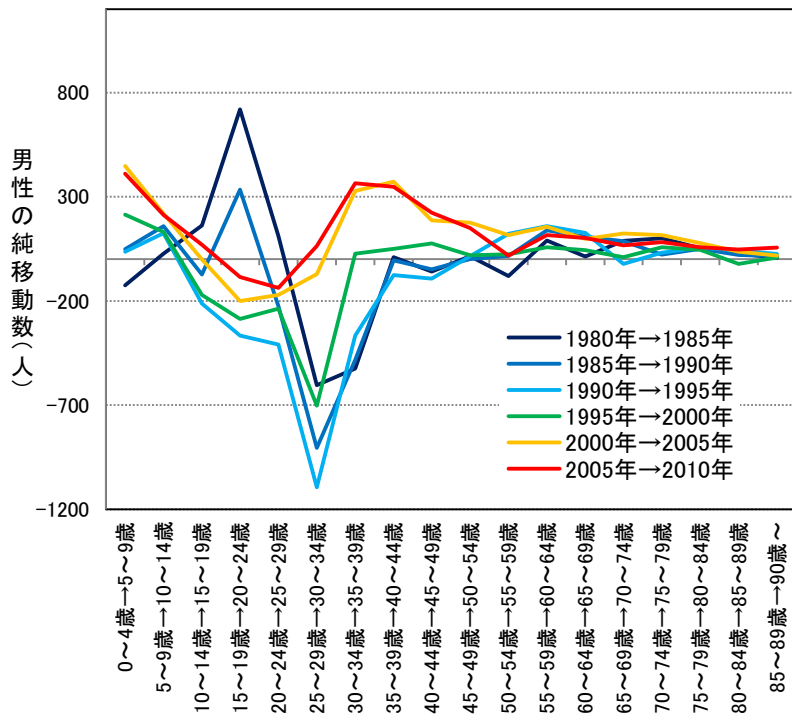
※1 自然増減および社会増減の移動数は2012年～2013年総務省「住民基本台帳人口移動報告」を使用した。

1. 人口動向分析

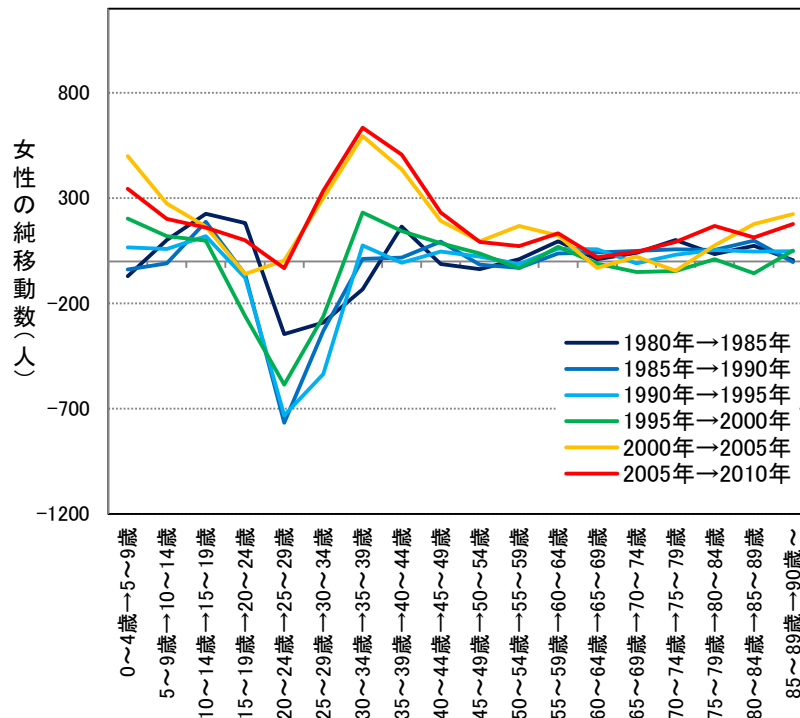
1-2. 年齢階級別による人口移動分析 – 性別・年齢階級別の人口移動の状況の長期的動向

- 2000年から2010年にかけて、男女共に30歳代から40歳代までの転入者が継続的に入ってきています。また、50歳代の女性の転入者が減少している一方で、60歳代の女性の転入者が増加しています。

年齢階級別人口移動の推移(鎌倉市男性)



年齢階級別の人口移動の推移(鎌倉市女性)



※1 1980年～2010年総務省「国勢調査」を使用した。

1. 人口動向分析

1-2. 年齢階級別による人口移動分析 – 性別・年齢階級別の人口移動の状況の長期的動向

■ 前頁の続き

(人)

純移動数・男	1980年 →1985年	1985年 →1990年	1990年 →1995年	1995年 →2000年	2000年 →2005年	2005年 →2010年
0～4歳→5～9歳	-125	48	36	214	447	411
5～9歳→10～14歳	27	159	125	131	219	212
10～14歳→15～19歳	162	-73	-213	-171	-1	70
15～19歳→20～24歳	720	334	-366	-287	-201	-85
20～24歳→25～29歳	111	-225	-410	-238	-171	-138
25～29歳→30～34歳	-604	-906	-1,095	-703	-72	63
30～34歳→35～39歳	-525	-483	-366	26	327	365
35～39歳→40～44歳	10	-5	-77	50	372	348
40～44歳→45～49歳	-60	-48	-93	75	186	224
45～49歳→50～54歳	15	1	15	19	175	149
50～54歳→55～59歳	-81	16	122	24	115	18
55～59歳→60～64歳	90	138	158	58	156	115
60～64歳→65～69歳	13	108	126	44	98	102
65～69歳→70～74歳	88	86	-22	10	124	67
70～74歳→75～79歳	100	22	31	57	116	82
75～79歳→80～84歳	52	50	56	45	78	58
80～84歳→85～89歳	26	21	42	-23	36	46
85～89歳→90歳～	6	15	25	8	18	56
全体	25	-742	-1,906	-661	2,022	2,163

(人)

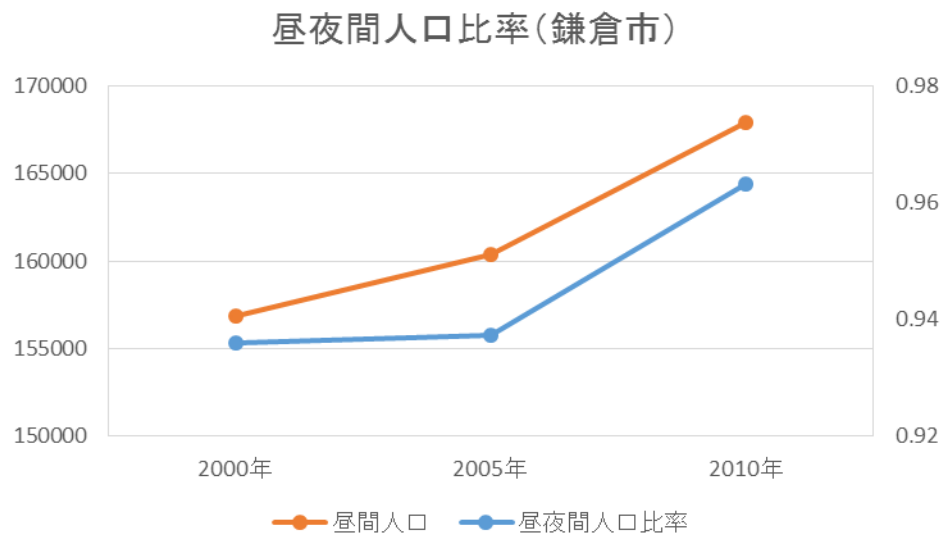
純移動数・女	1980年 →1985年	1985年 →1990年	1990年 →1995年	1995年 →2000年	2000年 →2005年	2005年 →2010年
0～4歳→5～9歳	-70	-39	66	203	500	344
5～9歳→10～14歳	101	-9	59	119	274	202
10～14歳→15～19歳	226	188	119	98	165	160
15～19歳→20～24歳	182	-63	-78	-260	-59	100
20～24歳→25～29歳	-345	-766	-732	-586	4	-32
25～29歳→30～34歳	-290	-330	-536	-261	301	336
30～34歳→35～39歳	-132	12	75	232	596	635
35～39歳→40～44歳	165	18	-7	144	438	507
40～44歳→45～49歳	-13	94	47	87	192	232
45～49歳→50～54歳	-37	-15	22	37	95	92
50～54歳→55～59歳	11	-30	-13	-33	169	72
55～59歳→60～64歳	95	37	61	69	123	134
60～64歳→65～69歳	10	42	58	-11	-31	20
65～69歳→70～74歳	40	50	-10	-50	22	46
70～74歳→75～79歳	101	57	31	-46	-45	93
75～79歳→80～84歳	34	55	54	10	75	169
80～84歳→85～89歳	74	99	47	-56	178	113
85～89歳→90歳～	5	-4	48	52	224	178
全体	157	-604	-689	-252	3,221	3,401

※1 1980年～2010年総務省「国勢調査」を使用した。

1. 人口動向分析

1-3.市町村間の人口移動の状況に係る分析 – 昼夜間人口比率

- 2000年から2010年にかけて、昼間人口は156,854人から167,904人へ増加しています。
- 昼夜間人口比率は2000年から2005年まで0.94を維持していましたが2010年には0.96へ増加しています。



【昼間人口、昼夜間人口比率】
昼間人口(常住人口(夜間人口)から他の市町村へ通勤・通学している人を引き、他の市町村から通勤・通学している人を足した数)を夜間人口で除して100をかけた値。各地方公共団体において、当該地方公共団体及びその近隣地方公共団体における昼夜間人口比率を把握し、従業・通学の場合の拠点性を把握することができる。

	2000年	2005年	2010年
昼夜間人口比率	0.94	0.94	0.96
昼間人口(人)	156,854	160,408	167,904

※1 2000年～2010年総務省「国勢調査」を使用した。

1. 人口動向分析

1-3.市町村間の人口移動の状況に係る分析 – 市区町村別通勤・通学の状況

【特別区部】
東京都23区のこと。

- 鎌倉市からの通勤先では、特別区部が24.40%、横浜市が19.21%となっています。
- 鎌倉市からの通学先では、特別区部が7.31%、横浜市が10.03%となっています。

	(人)					(%)				
	A+C 15歳以上 通勤・通学者数	C 15歳以上 通勤者数	A+B 全体 通学者数	A 15歳以上 通学者数	B 15歳未満 通学者数	A+C 15歳以上 通勤・通学率	C 15歳以上 通勤率	A+B 全体 総通学率	A 15歳以上 通学率	B 15歳未満 通学率
鎌倉市	77,282	70,060	19,146	7,222	11,924	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
自市町村で従業・通学	28,998	27,359	12,768	1,639	11,129	37.52	39.05	66.69	22.69	93.33
県内	27,823	24,116	4,430	3,707	723	36.00	34.42	23.14	51.33	6.06
他県	20,461	18,585	1,948	1,876	72	26.48	26.53	10.17	25.98	0.60

通勤通学者(15歳以上)		
通勤・通学先	通勤通学者数	通勤・通学率
1 特別区部	18,441	23.86
2 横浜市	15,096	19.53
3 藤沢市	5,298	6.86
4 港区	4,191	5.42
5 千代田区	3,185	4.12
6 中央区	2,346	3.04
7 川崎市	1,822	2.36
8 品川区	1,715	2.22
9 渋谷区	1,321	1.71
10 新宿区	1,278	1.65
11 横須賀市	1,205	1.56
12 大田区	1,104	1.43
13 茅ヶ崎市	806	1.04
14 平塚市	800	1.04
15 逗子市	635	0.82
16 江東区	550	0.71
17 文京区	484	0.63
18 世田谷区	461	0.60
19 目黒区	384	0.50
20 豊島区	351	0.45
21 相模原市	330	0.43
22 町田市	316	0.41
23 厚木市	312	0.40
24 台東区	304	0.39
25 大和市	279	0.36
26 小田原市	270	0.35
27 八王子市	185	0.24
28 墨田区	161	0.21
29 綾瀬市	148	0.19
30 海老名市	134	0.17
鎌倉市	28,998	37.52
※常住する通勤通学者	77,282	100.00

通勤者(15歳以上)		
通勤先	通勤者数	通勤率
1 特別区部	17,093	24.40
2 横浜市	13,459	19.21
3 藤沢市	4,418	6.31
4 港区	4,034	5.76
5 千代田区	2,988	4.26
6 中央区	2,342	3.34
7 川崎市	1,675	2.39
8 品川区	1,634	2.33
9 渋谷区	1,187	1.69
10 大田区	1,076	1.54
11 新宿区	1,060	1.51
12 横須賀市	974	1.39
13 茅ヶ崎市	650	0.93
14 平塚市	566	0.81
15 逗子市	537	0.77
16 江東区	535	0.76
17 文京区	375	0.54
18 目黒区	343	0.49
19 世田谷区	300	0.43
20 台東区	284	0.41
21 厚木市	269	0.38
22 大和市	261	0.37
23 豊島区	259	0.37
24 小田原市	200	0.29
25 相模原市	199	0.28
26 町田市	188	0.27
27 墨田区	158	0.23
28 綾瀬市	136	0.19
29 海老名市	132	0.19
30 中野区	106	0.15
鎌倉市	27,359	39.05
※常住する通勤者	70,060	100.00

通学者(15歳以上)		
通学先	通学者数	通学率
1 横浜市	1,637	22.67
2 特別区部	1,348	18.67
3 藤沢市	880	12.18
4 平塚市	234	3.24
5 横須賀市	231	3.20
6 新宿区	218	3.02
7 千代田区	197	2.73
8 世田谷区	161	2.23
9 港区	157	2.17
10 茅ヶ崎市	156	2.16
11 川崎市	147	2.04
12 渋谷区	134	1.86
13 相模原市	131	1.81
14 町田市	128	1.77
15 八王子市	120	1.66
16 文京区	109	1.51
17 逗子市	98	1.36
18 豊島区	92	1.27
19 品川区	81	1.12
20 小田原市	70	0.97
21 厚木市	43	0.60
22 目黒区	41	0.57
23 杉並区	32	0.44
24 大田区	28	0.39
25 調布市	27	0.37
26 台東区	20	0.28
27 武蔵野市	20	0.28
28 練馬区	19	0.26
29 多摩市	19	0.26
30 大和市	18	0.25
鎌倉市	1,639	22.69
※常住する通学者(歳以上)	7,222	100.00

通学者		
通学先	通学者数	通学率
1 横浜市	1,920	10.03
2 特別区部	1,399	7.31
3 藤沢市	1,193	6.23
4 平塚市	234	1.28
5 横須賀市	242	1.26
6 新宿区	219	1.14
7 千代田区	199	1.04
8 逗子市	171	0.89
9 港区	169	0.88
10 世田谷区	169	0.88
11 茅ヶ崎市	159	0.83
12 川崎市	157	0.82
13 相模原市	140	0.73
14 町田市	139	0.73
15 渋谷区	138	0.72
16 八王子市	120	0.63
17 文京区	112	0.58
18 品川区	95	0.50
19 豊島区	93	0.49
20 小田原市	70	0.37
21 厚木市	43	0.22
22 目黒区	42	0.22
23 杉並区	32	0.17
24 調布市	28	0.15
25 大田区	28	0.15
26 台東区	21	0.11
27 大和市	20	0.10
28 練馬区	20	0.10
29 多摩市	20	0.10
30 武蔵野市	20	0.10
鎌倉市	12,768	66.69
※常住する通学者	19,146	100.00

通学者(15歳未満)		
通学先	通学者数	通学率
1 藤沢市	313	2.62
2 横浜市	283	2.37
3 逗子市	73	0.61
4 特別区部	51	0.43
5 品川区	14	0.12
6 港区	12	0.10
7 平塚市	11	0.09
8 横須賀市	11	0.09
9 町田市	11	0.09
10 川崎市	10	0.08
11 相模原市	9	0.08
12 世田谷区	8	0.07
13 渋谷区	4	0.03
14 茅ヶ崎市	3	0.03
15 文京区	3	0.03
16 伊勢原市	3	0.03
17 千代田区	2	0.02
18 大和市	2	0.02
19 豊島区	2	0.02
20 新宿区	1	0.01
21 豊島区	1	0.01
22 目黒区	1	0.01
23 調布市	1	0.01
24 台東区	1	0.01
25 練馬区	1	0.01
26 多摩市	1	0.01
27 三鷹市	1	0.01
28 府中市	1	0.01
29 国分寺市	1	0.01
30 川崎市	1	0.01
鎌倉市	11,129	93.33
※常住する通学者(歳未満)	11,924	100.00

※1 2010年総務省「国勢10%以上」を使用した。

1. 人口動向分析

1-4. 圏域における転入・転出に関する調査分析 – 時系列の純移動の状況

- 1990年から2010年にかけて、総移動数は、横浜市と特別区部および藤沢市で大多数を占め、特別区部は1990年以降転入超過であるのに対し、藤沢市は転出超過が続いています。
- 横浜市内では栄区、戸塚区、港南区が、特別区部では世田谷区、大田区の間での総移動数の増減幅が大きくなっています。

(人)

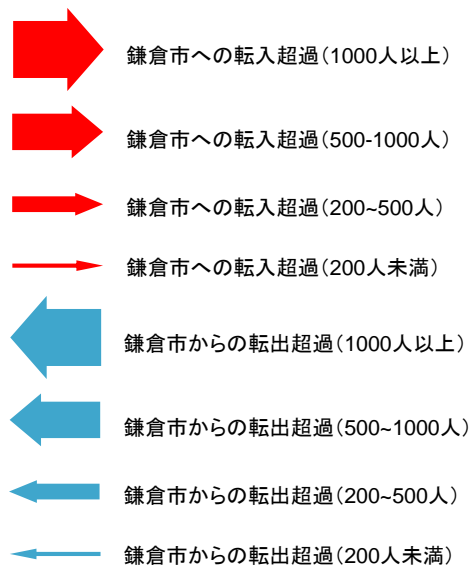
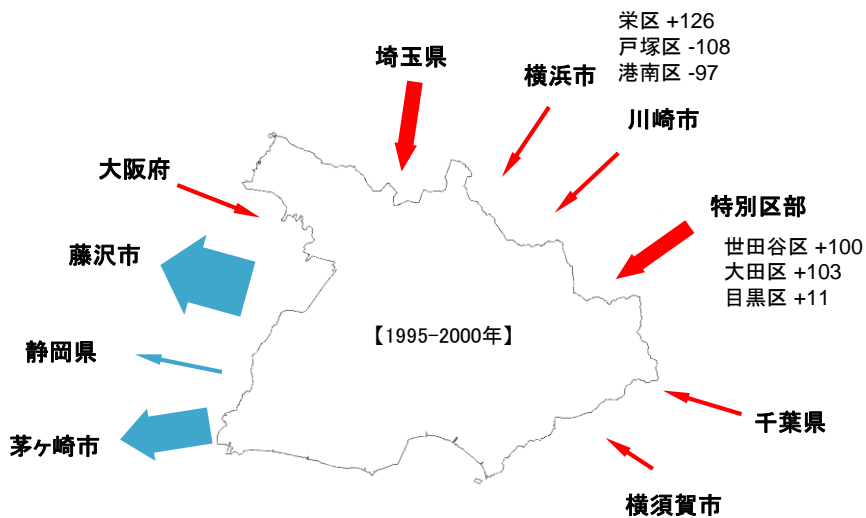
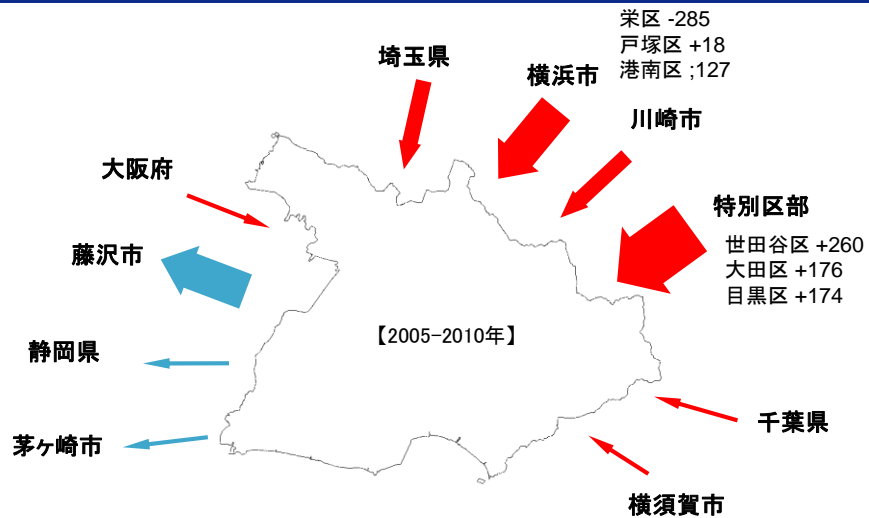
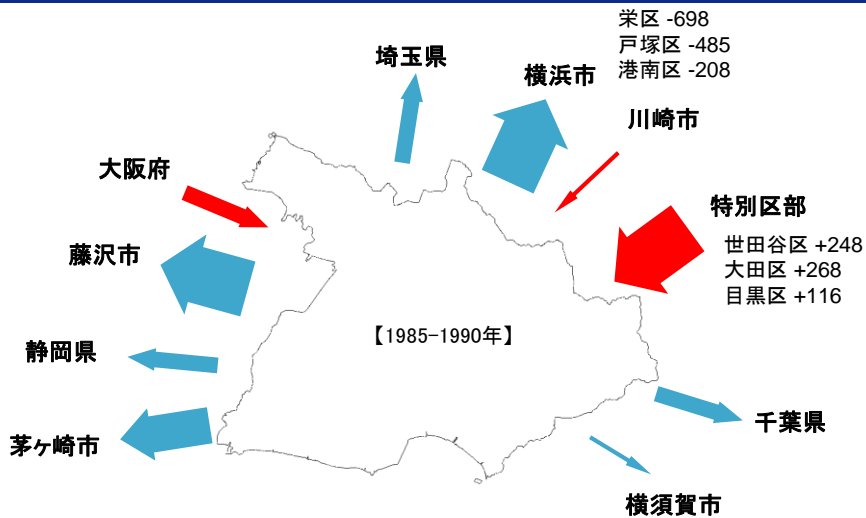
		1985年-1990年				1995年-2000年				2000年-2010年			
		転入数	転出数	純移動数 (転入数-転出数)	総移動数 (転入数+転出数)	転入数	転出数	純移動数 (転入数-転出数)	総移動数 (転入数+転出数)	転入数	転出数	純移動数 (転入数-転出数)	総移動数 (転入数+転出数)
全体	横浜市	5,373	7,041	-1,668	12,414	6,937	6,785	152	13,722	5,326	4,826	500	10,152
	特別区部	4,824	2,808	2,016	7,632	3,325	2,931	394	6,256	3,280	1,910	1,370	5,190
	藤沢市	1,875	3,582	-1,707	5,457	2,545	4,444	-1,899	6,989	1,877	2,664	-787	4,541
	川崎市	738	674	64	1,412	872	680	192	1,552	852	566	286	1,418
	千葉県	1,084	1,553	-469	2,637	1,116	1,064	52	2,180	855	706	149	1,561
	埼玉県	766	1,024	-258	1,790	1,016	758	258	1,774	836	500	336	1,336
	茅ヶ崎市	404	1,226	-822	1,630	562	1,151	-589	1,713	473	534	-61	1,007
	横須賀市	556	646	-90	1,202	721	636	85	1,357	430	391	39	821
	静岡県	535	783	-248	1,318	476	588	-112	1,064	425	444	-19	869
	大阪府 (国外)	826	611	215	1,437	603	469	134	1,072	387	292	95	679
				0	0	1,546		1,546	1,546	1,012		1,012	1,012
横浜市	栄区	919	1,617	-698	2,536	1,577	1,451	126	3,028	972	1,257	-285	2,229
	戸塚区	988	1,473	-485	2,461	1,153	1,261	-108	2,414	887	869	18	1,756
	港南区	372	580	-208	952	530	433	97	963	397	270	127	667
	金沢区	299	390	-91	689	446	322	124	768	324	215	109	539
	磯子区	315	381	-66	696	413	350	63	763	293	238	55	531
	港北区	373	344	29	717	345	357	-12	702	285	210	75	495
特別区部	世田谷区	713	465	248	1,178	513	413	100	926	565	305	260	870
	大田区	559	291	268	850	433	330	103	763	341	165	176	506
	目黒区	278	162	116	440	177	166	11	343	255	81	174	336
	品川区	285	199	86	484	197	214	-17	411	247	192	55	439
	杉並区	385	254	131	639	264	194	70	458	213	78	135	291

※鎌倉市 5歳以上人口

※1 1990年～2010年総務省「国勢調査」を使用した。

1. 人口動向分析

1-4. 圏域における転入・転出に関する調査分析 – 時系列の純移動の状況

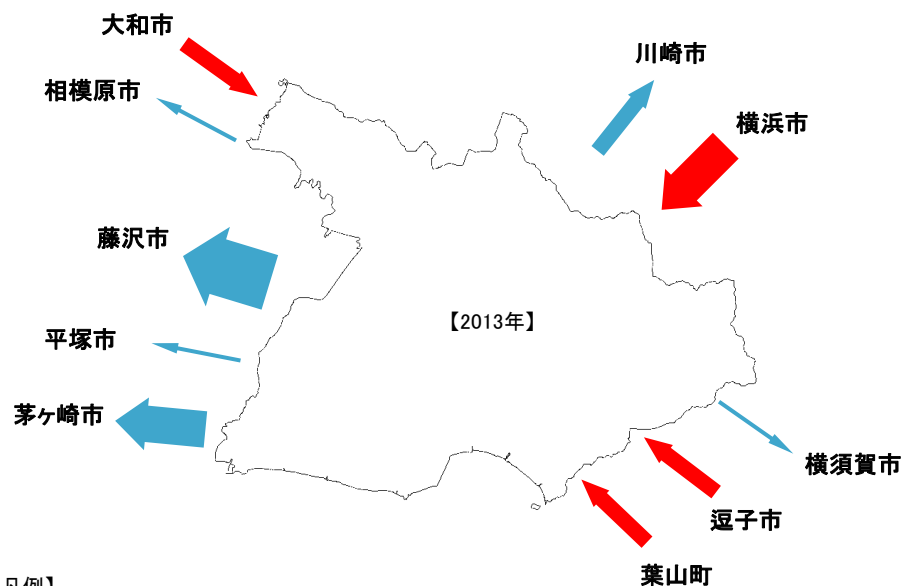
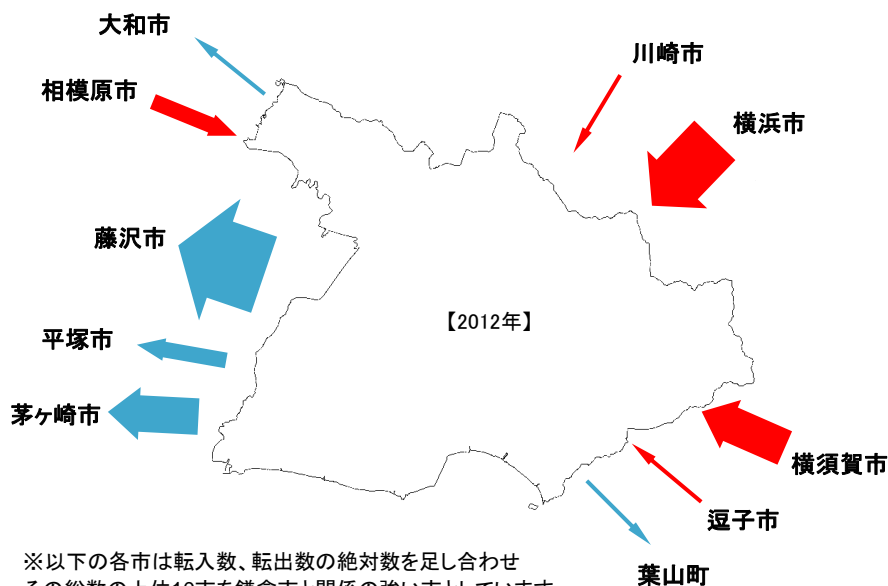


※1 1990年～2010年総務省「国勢調査」を使用した。

1. 人口動向分析

1-4. 圏域における転入・転出に関する調査分析 – 時系列の純移動の状況(県内)

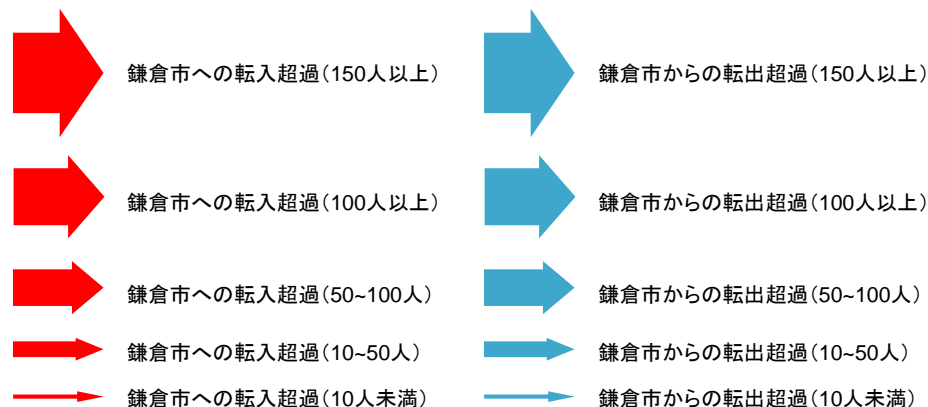
■ 2012年と2013年の両年において藤沢市、平塚市、茅ヶ崎市への転出超過数は同様に多い状況が続いています。横浜市、川崎市は転入超過から転出超過へと転じています。



※以下の各市は転入数、転出数の絶対数を足し合わせその総数の上位10市を鎌倉市と関係の強い市としています。

市区町村	2012年			2013年		
	転入元	転出先	純移動数	転入元	転出先	純移動数
横浜市	1,783	1,679	104	1,674	1,593	81
藤沢市	711	886	-175	663	764	-101
川崎市	255	251	4	264	295	-31
逗子市	144	135	9	152	127	25
茅ヶ崎市	134	207	-73	91	164	-73
横須賀市	162	109	53	122	125	-3
相模原市	81	62	19	66	74	-8
平塚市	83	100	-17	66	73	-7
葉山市	54	61	-7	77	48	29
大和市	57	66	-9	49	39	10

【凡例】

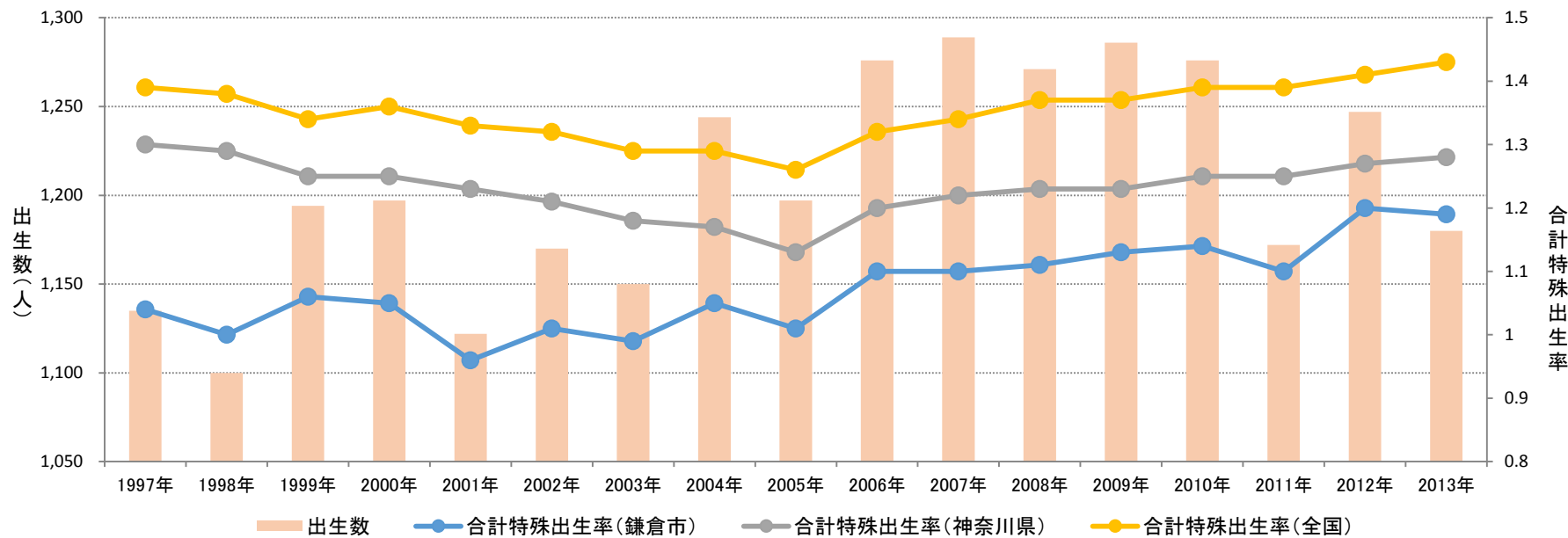


※1 2012年~2013年総務省「住民基本台帳人口移動報告」を使用した。

1. 人口動向分析

1-5. 出生に関する分析 – 合計特殊出生率と出生数の推移

■ 2005年以降、鎌倉市の合計特殊出生率は全国および神奈川県と同様に微増傾向にあります。鎌倉市の出生率は依然として県平均よりも下回っています。



	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
出生数 (人)	1,135	1,100	1,194	1,197	1,122	1,170	1,150	1,244	1,197	1,276	1,289	1,271	1,286	1,276	1,172	1,247	1,180
合計特殊出生率 (鎌倉市)	1.04	1.01	1.06	1.05	0.96	1.01	0.99	1.05	1.01	1.10	1.10	1.11	1.13	1.14	1.10	1.20	1.19
合計特殊出生率 (神奈川県)	1.3	1.29	1.25	1.25	1.23	1.21	1.18	1.17	1.13	1.20	1.22	1.23	1.23	1.25	1.25	1.27	1.28
合計特殊出生率 (全国)	1.39	1.38	1.34	1.36	1.33	1.32	1.29	1.29	1.26	1.32	1.34	1.37	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43

※1 2000年～2013年鎌倉保健福祉事務所 出生統計および神奈川県衛生統計年報統計を使用した。

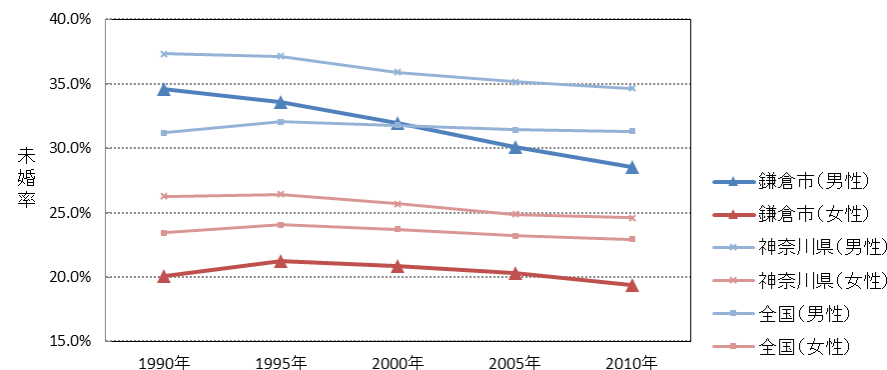
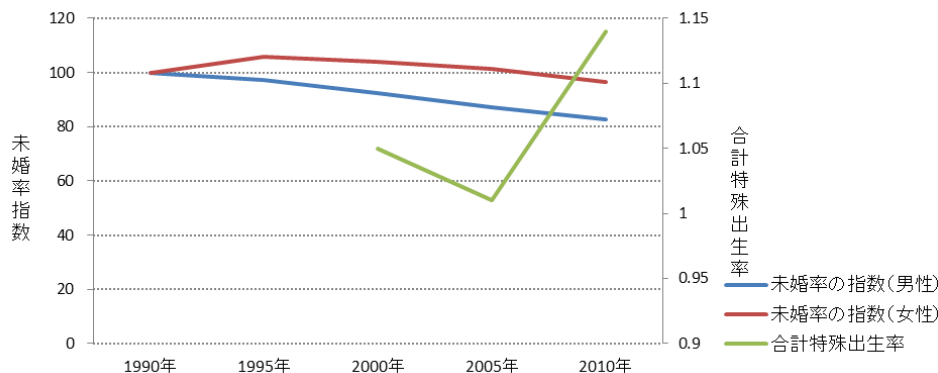
※2 1985年～2010年総務省「国勢調査」を使用した。

【合計特殊出生率】
15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。(厚生労働省)

1. 人口動向分析

1-5. 結婚と出生の分析 – 未婚率と合計特殊出生率の推移 1/2

- 鎌倉市では男性の未婚率は1990年から低下しているのに対し、女性は横ばいで推移しています。
- 全国および県と比較すると、鎌倉市の未婚率は比較的低い水準を推移しています。



※1 1990年～2010年総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態統計」を使用した。

1. 人口動向分析

1-5. 結婚と出生の分析 – 未婚率と合計特殊出生の推移 2/2

■ 前頁のつづき

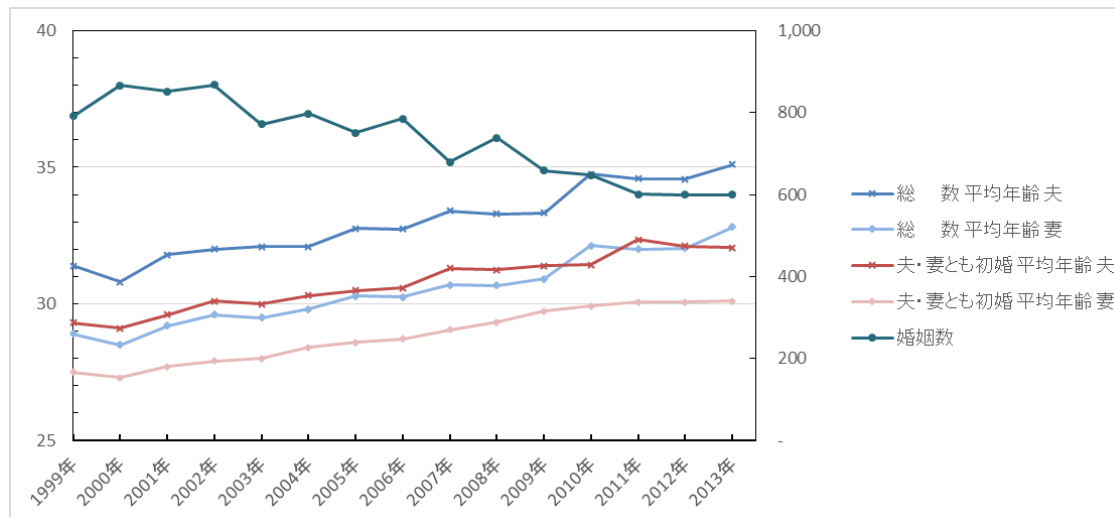
鎌倉市		1990年	1995年	2000年	2005年	2010年
総人口	総数	148,453	149,031	144,161	151,310	153,292
	未婚者数	45,278	44,365	40,619	40,263	39,108
	総数に対する未婚者数の割合	30.5%	29.8%	28.2%	26.6%	25.5%
男性	総数	71,503	71,240	68,774	71,368	71,563
	未婚者数	24,732	23,941	21,974	21,490	20,443
	総数に対する未婚者数の割合	34.6%	33.6%	32.0%	30.1%	28.6%
	1990年を100とした場合の指数	100	97	92	87	83
女性	総数	76,950	77,791	75,387	79,942	81,729
	未婚者数	20,546	20,424	18,645	18,773	18,665
	総数に対する未婚者数の割合	20.1%	21.2%	20.9%	20.3%	19.4%
	1990年を100とした場合の指数	100	106	104	101	97
合計特殊出生率				1.05	1.01	1.14
神奈川県		1990年	1995年	2000年	2005年	2010年
総人口	総数	6,579,041	7,006,915	7,290,998	7,568,403	7,808,360
	未婚者数	2,101,207	2,235,216	2,249,699	2,274,571	2,314,958
	総数に対する未婚者数の割合	31.9%	31.9%	30.9%	30.1%	29.6%
男性	総数	3,373,118	3,573,654	3,691,903	3,813,017	3,904,378
	未婚者数	1,259,296	1,327,695	1,325,115	1,340,486	1,353,806
	総数に対する未婚者数の割合	37.3%	37.2%	35.9%	35.2%	34.7%
女性	総数	3,205,923	3,433,261	3,599,095	3,755,386	3,903,982
	未婚者数	841,911	907,521	924,584	934,085	961,152
	総数に対する未婚者数の割合	26.3%	26.4%	25.7%	24.9%	24.6%
全国		1990年	1995年	2000年	2005年	2010年
総人口	総数	100,798,571	105,425,543	108,224,783	109,764,419	110,277,485
	未婚者数	27,420,708	29,461,746	29,880,658	29,832,537	29,729,932
	総数に対する未婚者数の割合	27.2%	27.9%	27.6%	27.2%	27.0%
男性	総数	48,956,149	51,239,082	52,503,471	53,085,562	53,154,614
	未婚者数	15,271,129	16,433,722	16,679,779	16,685,861	16,639,477
	総数に対する未婚者数の割合	31.2%	32.1%	31.8%	31.4%	31.3%
女性	総数	51,842,422	54,186,461	55,721,312	56,678,857	57,122,871
	未婚者数	12,149,579	13,028,024	13,200,879	13,146,676	13,090,455
	総数に対する未婚者数の割合	23.4%	24.0%	23.7%	23.2%	22.9%

※1 1990年～2010年総務省「国勢調査」、厚生労働省「人口動態統計」を使用した。

1. 人口動向分析

1-5. 結婚と出生の分析 – 平均結婚年齢と婚姻数の推移

- 婚姻数の総数は1999年より徐々に減少しており、夫婦ともに初婚の場合の初婚年齢が夫32歳、妻30歳と高齢化しています。



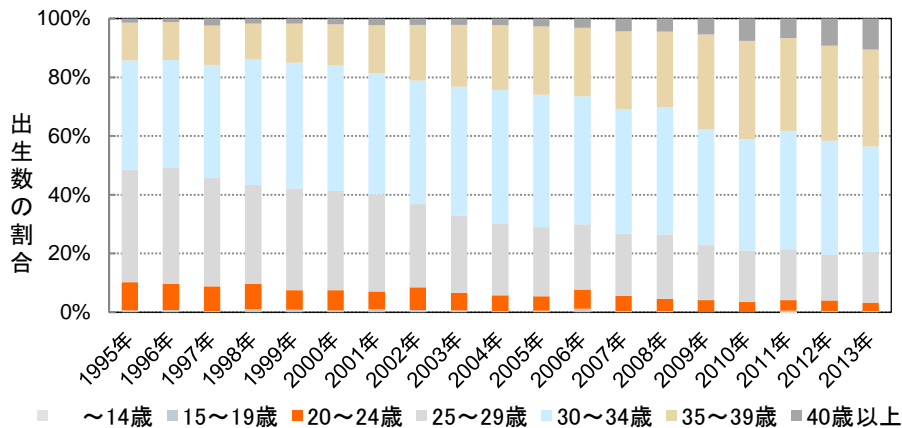
		1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	
総数	婚姻数(件)	791	866	852	868	772	798	751	785	679	738	659	648	601	600	599	
	平均年齢(歳)																
夫・妻とも初婚	平均年齢(歳)	夫	31.4	30.8	31.8	32	32.1	32.1	32.8	32.7	33.4	33.3	33.3	34.8	34.6	34.6	35.1
		妻	28.9	28.5	29.2	29.6	29.5	29.8	30.3	30.2	30.7	30.7	30.9	32.1	32.0	32.0	32.8
	平均年齢(歳)	夫	29.3	29.1	29.6	30.1	30	30.3	30.5	30.6	31.3	31.2	31.4	31.4	32.4	32.1	32.1
		妻	27.5	27.3	27.7	27.9	28	28.4	28.6	28.7	29.1	29.3	29.7	29.9	30.1	30.1	30.1

※1 1999年～2013年厚生労働省「人口動態統計」を使用した。

1. 人口動向分析

1-5. 結婚と出生の分析 – 母の年齢別出生数

- 35歳以上の女性により出産が増加している一方で、20代の女性の出産数の割合は継続して減少しており、出産年齢の高齢化が進んでいるといえます。



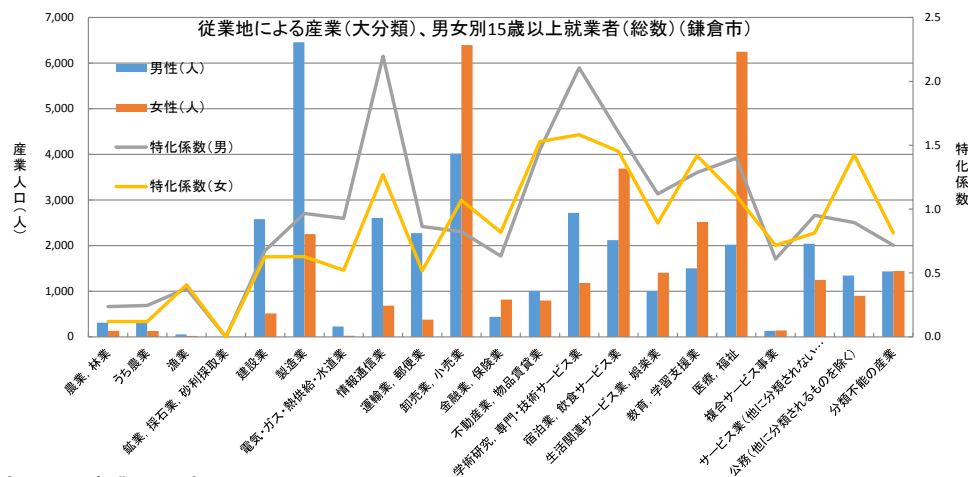
母の年齢	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	
～14歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
15～19歳	7	9	5	12	10	8	12	9	8	6	6	15	6	5	2	2	5	6	5	
	0.6%	0.8%	0.4%	1.1%	0.8%	0.7%	1.1%	0.8%	0.7%	0.5%	0.5%	1.2%	0.5%	0.4%	0.2%	0.2%	0.4%	0.5%	0.4%	
20～24歳	107	103	95	95	80	82	68	90	69	66	59	84	66	53	52	43	43	44	34	
	9.6%	8.9%	8.4%	8.6%	6.7%	6.9%	6.1%	7.7%	6.0%	5.3%	4.9%	6.6%	5.1%	4.2%	4.0%	3.4%	3.7%	3.5%	2.9%	
25～29歳	428	456	420	370	414	404	370	332	302	305	282	283	272	279	243	224	202	194	203	
	38.4%	39.5%	37.0%	33.6%	34.7%	33.8%	33.0%	28.4%	26.3%	24.5%	23.6%	22.2%	21.1%	22.0%	18.9%	17.6%	17.2%	15.6%	17.2%	
30～34歳	415	423	436	470	511	511	463	492	504	565	540	556	547	550	503	483	473	484	424	
	37.2%	36.6%	38.4%	42.7%	42.8%	42.7%	41.3%	42.1%	43.8%	45.4%	45.1%	43.6%	42.4%	43.3%	39.1%	37.9%	40.4%	38.8%	35.9%	
35～39歳	143	150	152	134	158	168	184	221	242	273	277	298	342	327	416	427	370	403	389	
	12.8%	13.0%	13.4%	12.2%	13.2%	14.0%	16.4%	18.9%	21.0%	21.9%	23.1%	23.4%	26.5%	25.7%	32.3%	33.5%	31.6%	32.3%	33.0%	
40歳以上	16	14	27	19	21	24	25	26	25	29	33	40	56	57	70	97	78	116	125	
	1.4%	1.2%	2.4%	1.7%	1.8%	2.0%	2.2%	2.2%	2.2%	2.3%	2.8%	3.1%	4.3%	4.5%	5.4%	7.6%	6.7%	9.3%	10.6%	
総数	1,116	1,155	1,135	1,100	1,194	1,197	1,122	1,170	1,150	1,244	1,197	1,276	1,289	1,271	1,286	1,276	1,172	1,247	1,180	

※1 1995年～2013年厚生労働省「人口動態統計」を使用した。

1. 人口動向分析

1-6. 雇用や就労等に関する分析 – 従業地における男女別産業人口

- 鎌倉市では、男女共通で情報通信業、学術研究、専門・技術サービス業が全国と比較すると特に多くの方が従事しています。これに不動産業・物品賃貸業、宿泊業・飲食サービス業が続きます。
- また、男性では医療福祉、女性では教育・学習支援業と公務が全国と比較すると多くの方が従事しています。



【従業地】
従業地(通学地)とは、就業者又は通学者が従業・通学している場所をいいます。(総務省)

※特化係数=鎌倉市のA産業の比率÷全国のA産業の比率

	農業、林業	うら職業	漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業(他に分類されないもの)	公務(他に分類されるものを除く)	分類不能の産業
男性(人)	311	308	51	-	2,582	6,456	228	2,604	2,272	4,015	438	1,008	2,719	2,118	1,001	1,502	2,021	132	2,041	1,344	1,435
女性(人)	129	128	21	-	511	2,254	25	685	374	6,396	814	794	1,180	3,690	1,404	2,519	6,248	139	1,246	897	1,443
総数(人)	440	436	72	-	3,093	8,710	253	3,289	2,646	10,411	1,252	1,802	3,899	5,808	2,405	4,021	8,269	271	3,287	2,241	2,878
全産業人口に対する就業者の割合	0.7%	0.7%	0.1%	-	4.8%	13.4%	0.4%	5.1%	4.1%	16.0%	1.9%	2.8%	6.0%	8.9%	3.7%	6.2%	12.7%	0.4%	5.1%	3.4%	4.4%
特化係数(男)	0.2	0.2	0.4	-	0.7	1.0	0.9	2.2	0.9	0.8	0.6	1.5	2.1	1.6	1.1	1.3	1.4	0.6	1.0	0.9	0.7
特化係数(女)	0.1	0.1	0.4	-	0.6	0.6	0.5	1.3	0.5	1.1	0.8	1.5	1.6	1.5	0.9	1.4	1.1	0.7	0.8	1.4	0.8
特化係数(総数)	0.2	0.2	0.4	-	0.6	0.8	0.8	1.9	0.8	1.0	0.8	1.5	1.9	1.6	1.0	1.4	1.2	0.7	0.9	1.0	0.8

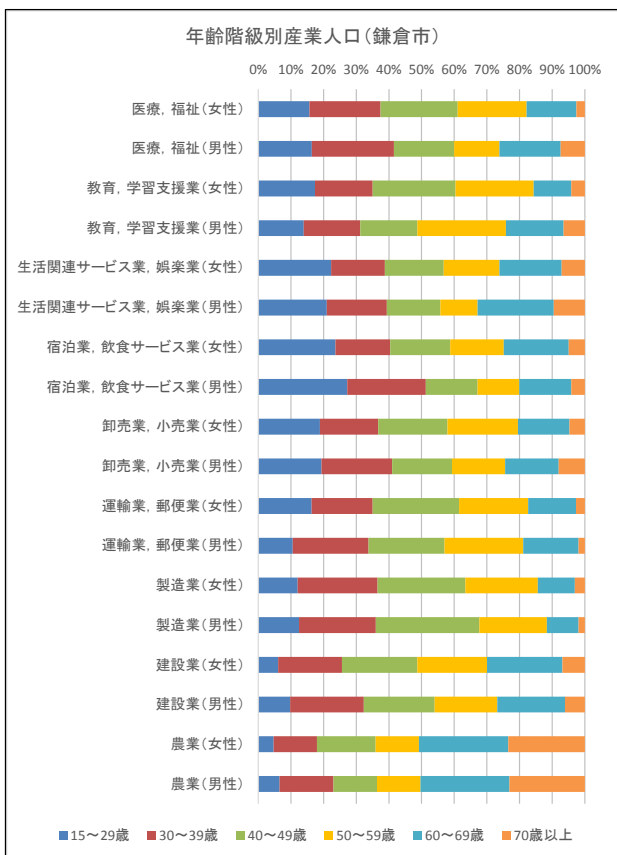
※1 2010年総務省「国勢調査」を使用した。

1. 人口動向分析

1-6. 雇用や就労等に関する分析 – 年齢階級別産業人口 1/2

■ 鎌倉市の年齢階級別産業人口を以下に示す。

(人)



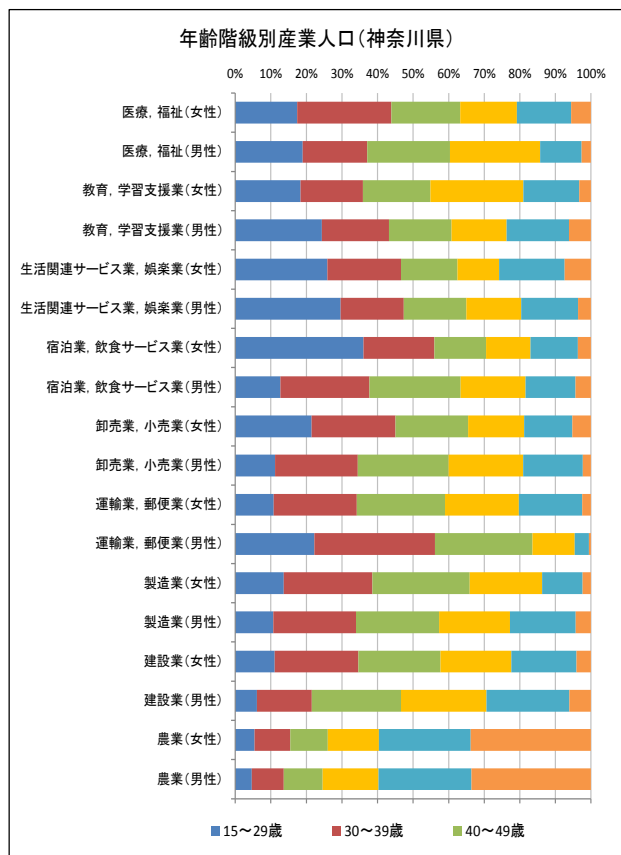
	15~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
農業(男性)	20	51	41	41	84	71
農業(女性)	6	17	23	17	35	30
建設業(男性)	252	583	559	495	536	157
建設業(女性)	31	100	118	109	118	35
製造業(男性)	807	1515	2050	1332	628	124
製造業(女性)	272	551	606	501	255	69
運輸業, 郵便業(男性)	240	527	529	548	384	44
運輸業, 郵便業(女性)	61	70	99	79	55	10
卸売業, 小売業(男性)	776	870	736	652	660	321
卸売業, 小売業(女性)	1207	1143	1354	1380	1012	300
宿泊業, 飲食サービス業(男性)	577	510	335	271	337	88
宿泊業, 飲食サービス業(女性)	872	619	678	606	733	182
生活関連サービス業, 娯楽業(男性)	210	184	164	114	234	95
生活関連サービス業, 娯楽業(女性)	313	231	253	240	267	100
教育, 学習支援業(男性)	209	260	263	407	265	98
教育, 学習支援業(女性)	437	446	639	602	290	105
医療, 福祉(男性)	331	508	373	281	378	150
医療, 福祉(女性)	978	1362	1477	1318	950	163

※1 2010年総務省「国勢調査」を使用した。

1. 人口動向分析

1-6. 雇用や就労等に関する分析 – 年齢階級別産業人口 2/2

■ 神奈川県 の年齢階級別産業人口を以下に示す。



	15～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
農業(男性)	1548	2982	3637	5215	8676	11172
農業(女性)	1127	2081	2182	2976	5346	7015
建設業(男性)	17	43	70	67	65	17
建設業(女性)	23754	50231	49405	42569	39106	8776
製造業(男性)	27153	59200	59344	50669	47012	10864
製造業(女性)	54419	99497	109192	81178	45451	9458
運輸業, 郵便業(男性)	28591	43646	35276	15243	5177	747
運輸業, 郵便業(女性)	18427	39729	42195	35386	30250	4231
卸売業, 小売業(男性)	23633	49073	53922	44227	35433	4839
卸売業, 小売業(女性)	54694	59985	52021	40164	34435	13361
宿泊業, 飲食サービス業(男性)	19097	37563	38491	27368	21117	6543
宿泊業, 飲食サービス業(女性)	30369	16739	12267	10508	11218	3088
生活関連サービス業, 娯楽業(男性)	64043	38476	38010	33318	34659	7828
生活関連サービス業, 娯楽業(女性)	13647	10925	8358	6203	9689	3919
教育, 学習支援業(男性)	31247	24161	22544	19865	22538	7913
教育, 学習支援業(女性)	12661	12110	13125	18060	10814	2298
医療, 福祉(男性)	31447	30060	38615	42031	19360	4361
医療, 福祉(女性)	15066	22940	16773	13805	13254	4809

※1 2010年総務省「国勢調査」を使用した。

2. 将来人口推計 調査分析項目

■ 将来人口推計における調査分析項目を以下に提示します。(詳細は次頁)

No.	大項目	分析項目	分析概要	対象年度	備考
1	将来人口推計	パターン1とパターン2との総人口の比較	パターン1とパターン2のデータから得られる将来人口推計を活用して、それぞれの人口推計の差を分析する。	2010～2060年	平成26年10月ガイドラインに準拠
2	将来人口推計	人口減少段階の分析	パターン1のデータを活用して、「人口減少段階」を分析する。	2010～2060年	平成26年10月ガイドラインに準拠
3	将来人口推計	人口増減状況の分析	パターン1のデータから得られる将来人口推計を活用して、2010年を100とした場合の人口増減状況を把握する。	2010～2060年	平成26年10月ガイドラインに準拠
4	将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度の分析	自然増減、社会増減の影響度の分析	シミュレーション1、2から、自然増減の影響度と社会増減の影響度が計算されるので、5段階で整理する。	2040年	平成26年10月ガイドラインに準拠
5	将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度の分析	総人口の分析	シミュレーション1、2のそれぞれについて、総人口の推計値の結果を得る。	2010～2060年	平成26年10月ガイドラインに準拠
6	将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度の分析	人口構造の分析	シミュレーションごとに、2010年と2040年の人口増減率を算出する。	2010年, 2040年	平成26年10月ガイドラインに準拠
7	将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度の分析	老年人口比率の変化(長期推計)	パターン1とシミュレーション1、2について、人口構造の変化を把握する。	2010～2060年	平成26年10月ガイドラインに準拠

平成26年10月ガイドライン: 「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定に向けた人口動向分析・将来人口推計について(内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局)

平成27年1月ガイドライン: 地方人口ビジョンの策定のための手引き(内閣府地方創生推進室)

2. 将来人口推計 調査分析項目の詳細 1/2

- 将来人口推計に関して、まち・ひと・しごと創成本部によるガイドラインに沿った分析項目、及び独自推計の分析項目の詳細を以下に提示します。

将来推計に関する分析項目

分析項目	特徴	使用データ					算出方法	協議、確認ポイント	
		人口	純移動率	出生率	生残率	子ども女性比			
将来人口推計	パターン1とパターン2との総人口の比較	内閣府の推計値をもとに、移動率の違い(2040年まで同水準で推移するという仮定)による差分を分析する。	2010年 10月1日 社人研	・社人研 ・日本創成 会議	社人研	社人研	社人研	国提供のワークシートより推計値を算出する。	
	人口減少段階	人口減少の進行段階※を、老年人口の増減によって分析する。 ※ 第1段階: 老年人口の増加 第2段階: 老年人口の維持・微減 第3段階: 老年人口の減少	2010年 10月1日 社人研	社人研	社人研	社人研	社人研	国提供のワークシートより推計値を算出し、2040年度における人口減少段階(段階1~3)を判定する。	各段階の閾値の設定について
		市内(地区)における、人口規模と人口減少段階との関連性を分析する。	2010年 9月30日 住民基本 台帳	社人研	社人研)	社人研	社人研		各「規模」として定義する人口について
	人口増減状況	各人口増減状況にある地区の割合の推移を分析する。	2010年 9月30日 住民基本 台帳	社人研	社人研	社人研	社人研	国提供のワークシートより算出した推計値をもとに、各地区において、2010年の人口を100とした10年ごとの指数を算出する。	

2. 将来人口推計 調査分析項目の詳細 2/2

■ 前頁のつづき

将来推計に関する分析項目

分析項目	特徴	使用データ					算出方法	協議、確認ポイント
		人口	純移動率	出生率	生残率	子ども 女性比		
将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度	将来人口に及ぼす自然増減と社会増減の影響度を分析する。	2010年 10月1日 社人研	・社人研 ・日本創成 会議	社人研	社人研	社人研	国提供のワークシートより推計値を算出し、以下の計算値を5段階で評価する。 自然増減の影響度 シミュレーション1÷総人口推計値 社会増減の影響 シミュレーション2÷シミュレーション1	
	自然増減と社会増減の影響度について、市内(地区)のばらつきを分析する。	2010年 9月30日 住民基本 台帳	・社人研 ・日本創成 会議	社人研	社人研	社人研		
総人口推計	内閣府の推計値と、自然増減と社会増減に関わるシミュレーション推計値とを比較し、分析する。	2010年 10月1日 社人研	・社人研 ・日本創成 会議	社人研	社人研	社人研	国提供のワークシートより推計値を算出する。	
人口構造	各推計パターン(上記、総人口推計の4パターン)における、年齢区分ごとの人口増減率を分析する。	2010年 10月1日 社人研	・社人研 ・日本創成 会議	社人研	社人研	社人研	国提供のワークシートより推計値を算出する。	
老年人口比率 の変化 (長期推計)	各推計パターンごとの、総人口における老年人口の比率を分析する。	2010年 10月1日 社人研	社人研	社人研	社人研	社人研	国提供のワークシートより算出した推計値をもとに、各年度の老年人口の比率を算出する。	
	総人口における年齢区分ごとの人口の比率を分析する。	2010年 10月1日 社人研	社人研	社人研	社人研	社人研	国提供のワークシートより算出した推計値をもとに、各年度、各年齢区分ごとの比率を算出する。	

2. 将来人口推計 将来人口推計における推計パターン

- 将来人口推計における推計パターンは、国のガイドラインにおいては、「将来の人口を見通すための一定の推定方式」として下表の2つの推計ケースを想定しています。
このうち、国では近年の社会移動の状況を踏まえ、今後、社会移動が落ち着くと仮定した「パターン1」を基本の人口推計ケースとしています。
- 以降で、下表の2パターンに基づき、内閣府から提供されたワークシートを活用し、2010年の人口情報をもとに、2060年までの将来人口推計を行います。

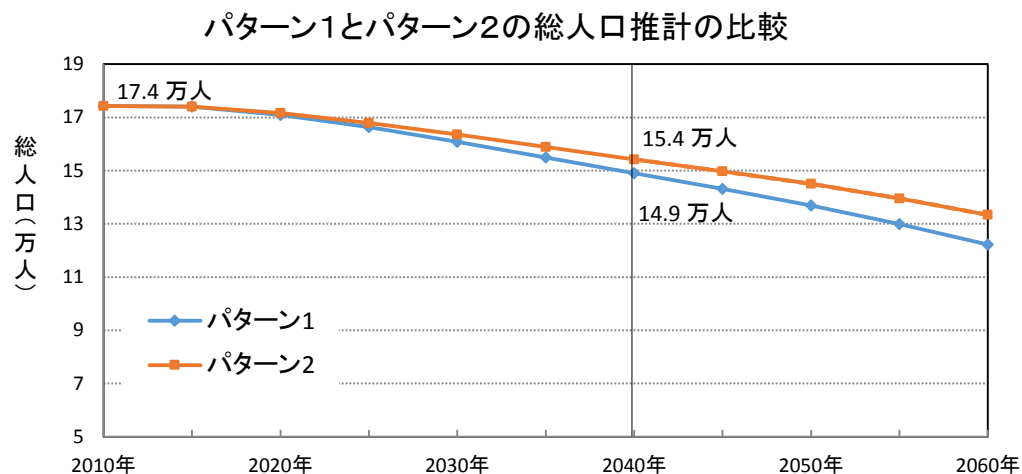
各推計パターンの設定内容

推計パターン	概要	純移動率	出生率
パターン1	全国の移動率が、今後一定程度縮小すると仮定した推計 (社人研推計準拠)	2005年～2010年の国勢調査に基づいて算出された純移動率が、2015年～2020年までに定率で0.5倍に縮小し、その後は同一の値で推移	2010年の全国の子ども女性比と各市町村の子ども女性比との比をとり、その比が2015年以降一定として市町村ごとに仮定
パターン2	全国の総移動数が2010年～2015年の推計値と概ね同水準でそれ以降も推移すると仮定した推計 (日本創生会議推計準拠)	2010～2015年の概ね同水準で推移すると仮定して、日本創生会議が算出した純移動率	同上

2. 将来人口推計

2-1. 将来人口推計 – パターン1とパターン2との総人口の比較

- 鎌倉市の総人口は、2040年時点において、パターン1では15.4万人、パターン2では14.9万人となることが推計されます。



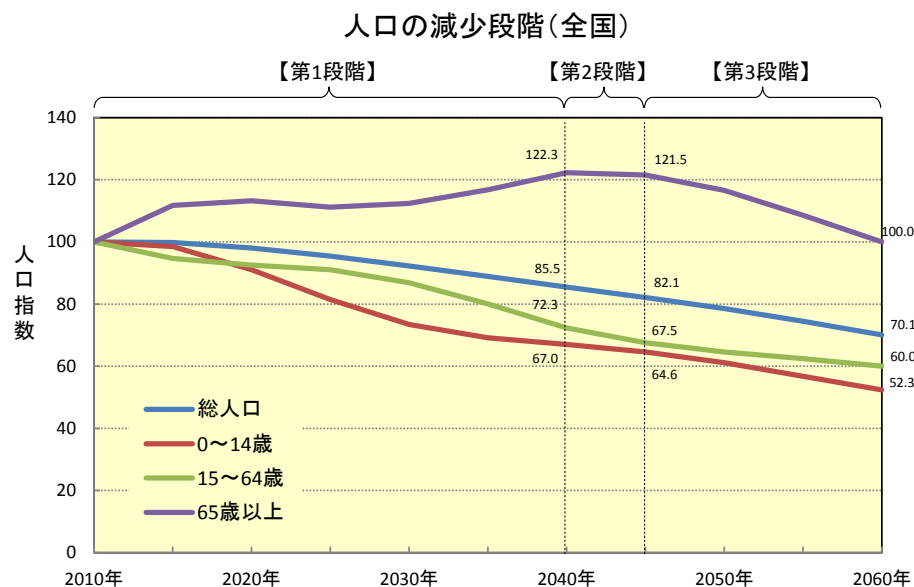
			2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
パターン1	移動率が今後一定程度縮小すると仮定(社人研)	(人)	174,312	174,048	170,948	166,335	160,864	154,968	148,994	143,079	136,877	129,867	122,207
		2010年に対する割合		99.8%	98.1%	95.4%	92.3%	88.9%	85.5%	82.1%	78.5%	74.5%	70.1%
パターン2	移動率が同水準で推移すると仮定(日本創生会議)	(人)	174,312	174,048	171,621	167,931	163,560	158,939	154,234	149,716	145,032	139,582	133,392
		2010年に対する割合		99.8%	98.5%	96.3%	93.8%	91.2%	88.5%	85.9%	83.2%	80.1%	76.5%

パターン2における2040年以降の推計値は、2040年の出生率、生残率、純移動率、子ども女性比、0-4歳性比で算出した。

2. 将来人口推計

2-1. 将来人口推計 – 人口減少段階の分析 – 市の状況

- 現在、鎌倉市は※人口減少段階の第1段階に分類でき、2040年より第2段階に移行します。



	2010年	2040年	2040年の人口減少指数	人口減少段階
老年人口 65歳以上	48,123	58,855	122.3	1
生産年齢人口 15～64歳	105,242	76,104	72.3	
年少人口 0～14歳	20,947	14,036	67.0	

※人口減少段階
 第1段階: 老年人口の増加
 第2段階: 老年人口の維持・微減
 第3段階: 老年人口の減少

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
総人口	100	99.85	98.07	95.42	92.29	88.90	85.48	82.08	78.52	74.50	70.11
0～14歳	100	98.55	91.07	81.48	73.44	69.19	67.01	64.62	61.12	56.76	52.34
15～64歳	100	94.69	92.55	91.01	86.82	80.08	72.31	67.53	64.58	62.46	60.00
65歳以上	100	111.70	113.19	111.14	112.43	116.77	122.30	121.51	116.59	108.56	99.95

※1 2010年年総務省「国勢調査」を基本とし、社人研の推計による補正を行っている

2. 将来人口推計

将来人口推計における推計パターン — シミュレーション推計

- 将来人口推計における推計パターンは、国のガイドラインにおいては、将来人口に及ぼす自然増減と社会増減の影響度を分析するためのシミュレーションとして、下表の2つの推計ケースを想定しています。これらは、社会移動が落ち着くと仮定した「パターン1」を基本の人口推計ケースをベースとし、出生率の回復や社会移動の是正等の施策を施した場合の効果の検証や、市町村独自の人口推計を行うことを推奨しています。
- 以降で、下表の2パターンに基づき、内閣府から提供されたワークシートを活用し、2010年の人口情報をもとに、2060年までの将来人口推計を行います。

各推計パターンの設定内容

推計パターン	概要	純移動率	出生率
シミュレーション1	パターン1をベースに、出生率が2030年までに人口置換水準(2.1)まで上昇すると仮定した場合の将来人口推計	2020年まで定率で0.5倍に縮小し、以降は同一の値で推移。	2020年に1.57、 2025年に1.8、 2030年以降は2.1で推移。
シミュレーション2	シミュレーション1をベースに、社会移動がゼロ(均衡する)と仮定した場合の将来人口推計	純移動率がゼロ。	2020年に1.57、 2025年に1.8、 2030年以降は2.1で推移。
パターン1 (再掲)	全国の移動率が、今後一定程度縮小すると仮定した推計 (社人研推計準拠)	2005年～2010年の国勢調査に基づいて算出された純移動率が、2015年～2020年までに定率で0.5倍に縮小し、その後は同一の値で推移	2010年の全国の子ども女性比と各市町村の子ども女性比との比をとり、その比が2015年以降一定として市町村ごとに仮定

出典：1940年～2010年国勢調査

2. 将来人口推計

2-2. 将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度分析 – 自然増減、社会増減の影響度の分析

計算値
シミュレーション1の推計人口 / パターン1の推計人口 = 自然増減の影響度
シミュレーション2の推計人口 / シミュレーション1の推計人口 = 社会増減の影響度

影響度は、各計算結果に応じて以下の5段階で評価する。

自然増減の影響度の評価	社会増減の影響度の評価
1 : 100%未満	1 : 100%未満
2 : 100~105%	2 : 100~110%
3 : 105~110%	3 : 110~120%
4 : 110~115%	4 : 120~130%
5 : 115%以上	5 : 130%以上

2040年

(人)

圏域	市	パターン1	シミュレーション1	シミュレーション2	自然増減の影響度	社会増減の影響度
川崎・横浜都市圏域	横浜市	3,466,839	3,763,409	3,455,668	109%	3
	川崎市	1,475,584	1,599,067	1,401,371	108%	3
湘南都市圏域 5市 3町	平塚市	225,598	242,886	237,828	108%	3
	藤沢市	391,660	422,805	387,621	108%	3
	茅ヶ崎市	217,420	233,869	217,614	108%	3
	秦野市	147,996	160,391	155,889	108%	3
	伊勢原市	86,912	93,308	95,734	107%	3
	寒川町	40,553	43,260	44,391	107%	3
	大磯町	27,128	29,534	27,290	109%	3
二宮町	20,873	22,933	24,495	110%	3	
三浦半島都市圏域 4市1町	横須賀市	312,372	338,927	354,741	109%	3
	鎌倉市	148,994	162,922	146,116	109%	3
	逗子市	47,386	52,027	48,071	110%	3
	三浦市	31,782	35,437	37,576	111%	4
	葉山町	29,028	31,229	27,424	108%	3

【 2040年 】

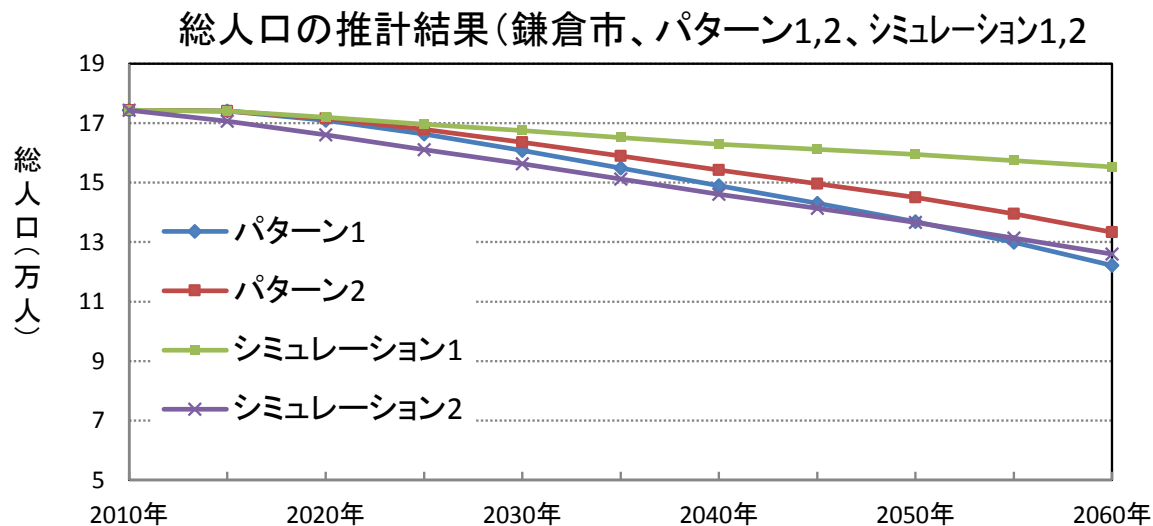
社会増減の影響	1	2	3	4	5
5					
4					
3					
2			伊勢原市、寒川町、 二宮町、横須賀市	三浦市	
1			横浜市、川崎市、 平塚市、藤沢市、 茅ヶ崎市、秦野市、 大磯町、 鎌倉市、 逗子市、葉山町		

自然増減の影響

2. 将来人口推計

2-2. 将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度分析 – 総人口の分析

- 2060年の2010年に対する人口増減比を比較するとシミュレーション1では9割を切ったところに対し、シミュレーション2では7割近くまで減少します。



	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
パターン1	174,312	174,048	170,948	166,335	160,864	154,968	148,994	143,079	136,877	129,867	122,207
	-	99.8%	98.1%	95.4%	92.3%	88.9%	85.5%	82.1%	78.5%	74.5%	70.1%
パターン2	174,312	174,048	171,621	167,931	163,560	158,939	154,234	149,716	145,032	139,582	133,392
	-	99.8%	98.5%	96.3%	93.8%	91.2%	88.5%	85.9%	83.2%	80.1%	76.5%
シミュレーション1	174,312	174,098	172,015	169,632	167,503	165,107	162,922	161,187	159,506	157,409	155,253
	-	99.9%	98.7%	97.3%	96.1%	94.7%	93.5%	92.5%	91.5%	90.3%	89.1%
シミュレーション2	174,312	170,633	166,056	161,122	156,399	151,267	146,116	141,380	136,645	131,412	126,049
	-	97.9%	95.3%	92.4%	89.7%	86.8%	83.8%	81.1%	78.4%	75.4%	72.3%

※1 2010年年総務省「国勢調査」を基本とし、社人研の推計による補正を行っている。

※2 割合は2010年に対する人口増減とする。

2. 将来人口推計

2-2. 将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度分析 – 人口構造の分析①

- パターン1と2、シミュレーション1と2における2040年時点の年齢3区分別の人口構成を示します。

		総人口	0～14歳	0～4歳	15～64歳	65歳以上	20～39歳 女性人口
2010年	現状値	168,625	23,319	7,552	107,597	37,709	19,897
2040年	パターン1	148,994	14,036	4,379	76,104	58,855	14,246
		-	9.4%	2.9%	51.1%	39.5%	9.6%
	シミュレーション1	162,922	24,450	7,917	79,617	58,855	14,823
		-	15.0%	4.9%	48.9%	36.1%	9.1%
	シミュレーション2	146,116	20,424	6,675	69,568	56,124	12,596
	-	14.0%	4.6%	47.6%	38.4%	8.6%	
	パターン2	154,234	15,134	4,689	79,947	59,153	15,150
	-	-	9.8%	3.0%	51.8%	38.4%	9.8%

		総人口	0～14歳	0～4歳	15～64歳	65歳以上	20～39歳 女性人口
2010年 →2040年	パターン1	-11.6%	-39.8%	-42.0%	-29.3%	56.1%	-28.4%
	シミュレーション1	-3.4%	4.9%	4.8%	-26.0%	56.1%	-25.5%
	シミュレーション2	-13.3%	-12.4%	-11.6%	-35.3%	48.8%	-36.7%
	パターン2	-8.5%	-35.1%	-37.9%	-25.7%	56.9%	-23.9%

※1 2010年年総務省「国勢調査」を基本とし、社人研の推計による補正を行っている





2. 将来人口推計

2-2. 将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度分析 – 人口構造の分析②

■ 前頁のつづき

		2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
パターン1	総人口	174,312	174,048	170,948	166,335	160,864	154,968	148,994	143,079	136,877	129,867	122,207
	年少人口比率	12.0%	11.9%	11.2%	10.3%	9.6%	9.4%	9.4%	9.5%	9.4%	9.2%	9.0%
	生産年齢人口比率	60.4%	57.3%	57.0%	57.6%	56.8%	54.4%	51.1%	49.7%	49.7%	50.6%	51.7%
	65歳以上人口比率	27.6%	30.9%	31.9%	32.2%	33.6%	36.3%	39.5%	40.9%	41.0%	40.2%	39.4%
	75歳以上人口比率	13.7%	16.0%	18.5%	21.0%	21.3%	21.0%	22.1%	24.6%	27.7%	28.6%	27.8%
シミュレーション1	総人口	174,312	174,098	172,015	169,632	167,503	165,107	162,922	161,187	159,506	157,409	155,253
	年少人口比率	12.0%	11.9%	11.7%	12.0%	13.1%	14.2%	15.0%	15.3%	15.5%	15.7%	16.1%
	生産年齢人口比率	60.4%	57.2%	56.6%	56.5%	54.6%	51.7%	48.9%	48.5%	49.3%	51.1%	53.0%
	65歳以上人口比率	27.6%	30.9%	31.7%	31.5%	32.3%	34.0%	36.1%	36.3%	35.2%	33.2%	31.0%
	75歳以上人口比率	13.7%	16.0%	18.4%	20.6%	20.4%	19.7%	20.2%	21.8%	23.8%	23.6%	21.9%
シミュレーション2	総人口	174,312	170,633	166,056	161,122	156,399	151,267	146,116	141,380	136,645	131,412	126,049
	年少人口比率	12.0%	11.6%	11.3%	11.4%	12.3%	13.3%	14.0%	14.2%	14.4%	14.6%	14.9%
	生産年齢人口比率	60.4%	57.2%	56.5%	56.1%	53.9%	50.7%	47.6%	47.1%	48.0%	49.7%	51.7%
	65歳以上人口比率	27.6%	31.1%	32.2%	32.4%	33.7%	36.0%	38.4%	38.7%	37.6%	35.7%	33.4%
	75歳以上人口比率	13.7%	16.0%	18.5%	21.0%	21.1%	20.6%	21.4%	23.5%	25.8%	25.6%	23.7%

※1 国勢調査(平成22年10月1日)データをもとにした、内閣府の将来人口推計における推計パターンを使用。

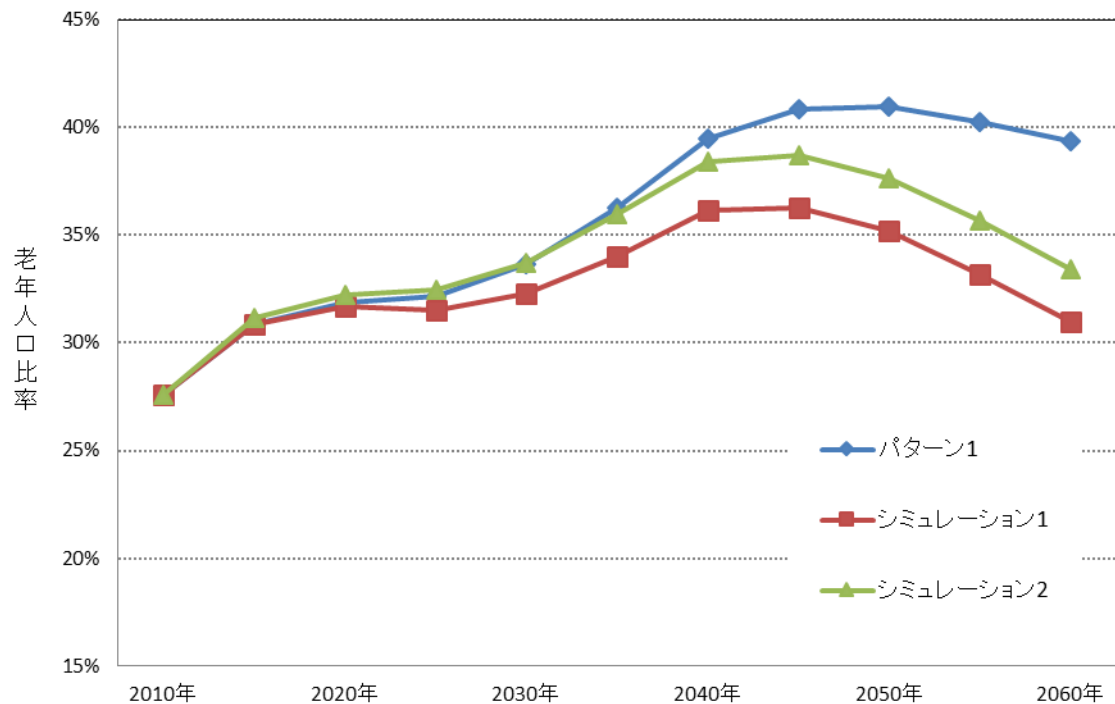
【凡例】 生産年齢人口比率		50%以下
老年人口比率		30~35%
		35~40%
		40%以上

※1 2010年年総務省「国勢調査」を基本とし、社人研の推計による補正を行っている

2. 将来人口推計

2-2. 将来人口に及ぼす自然増減・社会増減の影響度分析 – 老年人口比率の変化(長期推計)

- 老年人口比率を比較するとどの推計においても2040年から2050年は老年人口比率が35%以上となります。



	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
パターン1	27.6%	30.9%	31.9%	32.2%	33.6%	36.3%	39.5%	40.9%	41.0%	40.2%	39.4%
シミュレーション1	27.6%	30.9%	31.7%	31.5%	32.3%	34.0%	36.1%	36.3%	35.2%	33.2%	31.0%
シミュレーション2	27.6%	31.1%	32.2%	32.4%	33.7%	36.0%	38.4%	38.7%	37.6%	35.7%	33.4%

※1 2010年年総務省「国勢調査」を基本とし、社人研の推計による補正を行っている

3. 将来展望に必要な調査・分析 ～都市間比較データ～

3-1. 就業に関する統計

- 「正規雇用割合」は、県平均の82.1%（男性）、43.0%（女性）に対して、82.8%（男性）、45.5%（女性）と高くなっている。
- 「流出人口比率」は61.4%、「流入人口比率」は53.7%となっており、市内常住者の流出は高い割合になっている。

	従業者数(2012) 【単位：人】		人口千 対	従業者数増減率 (2009～2012)【単 位：%】		正規雇用割合(男 性)(2010)【単 位：%】		正規雇用割合(女 性)(2010)【単 位：%】		従業者の流出(2010)			従業者の流入(2010)			
										他市町村 で従業者 【単位：人】	当地に常 住する従 業者【単 位：人】	流出人 口比率 【単位：%】		他市町村 に常住す る者【単 位：人】	当地で従 業する者 【単位： 人】	流入人 口比率 【単位：%】
全国	42,035,275	329.6	全国	-5.9	全国	82.3	全国	45.4	全国	-	-	-	全国	-	-	-
県	3,322,571	367.0	県	-4.3	県	82.1	県	43.0	神奈川県	2,556,125	4,146,942	61.6	神奈川県	1,702,498	3,436,282	49.5
1 箱根町	13,576	1008.9	松田町	8.1	川崎市	83.8	箱根町	51.5	二宮町	9,674	13,275	72.9	中井町	6,111	8,239	74.2
2 中井町	8,225	825.8	清川村	3.6	葉山町	83.5	川崎市	47.4	逗子市	18,261	25,344	72.1	開成町	4,741	7,000	67.7
3 厚木市	140,255	626.0	山北町	2.2	開成町	83.4	鎌倉市	45.5	大磯町	10,802	15,020	71.9	大井町	4,926	7,900	62.4
4 愛川町	19,156	460.7	開成町	1.9	横浜市	83.0	開成町	44.8	開成町	5,594	7,780	71.9	松田町	2,818	4,692	60.1
5 清川村	1,538	460.5	茅ヶ崎市	0.1	鎌倉市	82.8	横浜市	44.0	座間市	42,380	59,556	71.2	海老名市	30,992	52,490	59.0
6 寒川町	21,006	442.8	小田原市	-0.9	藤沢市	82.6	逗子市	43.8	松田町	4,060	5,709	71.1	清川村	776	1,382	56.2
7 小田原市	86,138	436.6	川崎市	-1.9	茅ヶ崎市	82.2	松田町	43.0	葉山町	9,761	14,173	68.9	綾瀬市	20,334	36,479	55.7
8 開成町	6,961	424.2	伊勢原市	-2.4	横須賀市	82.1	伊勢原市	42.8	大井町	6,001	8,829	68.0	鎌倉市	34,928	65,047	53.7
9 伊勢原市	41,675	412.2	藤沢市	-2.5	逗子市	82.1	大磯町	42.2	海老名市	39,413	59,679	66.0	寒川町	11,314	21,972	51.5
10 平塚市	105,059	404.1	中井町	-2.6	大磯町	82.1	湯河原町	41.6	清川村	1,062	1,644	64.6	厚木市	70,635	137,823	51.3
11 綾瀬市	33,150	397.4	秦野市	-2.6	海老名市	81.6	藤沢市	41.6	真鶴町	2,522	3,934	64.1	箱根町	7,763	15,170	51.2
12 海老名市	50,660	395.4	逗子市	-3.0	寒川町	81.3	葉山町	41.5	大和市	65,122	102,629	63.5	山北町	2,477	4,929	50.3
13 横浜市	1,409,108	382.0	厚木市	-3.1	清川村	81.2	小田原市	41.3	綾瀬市	23,968	38,947	61.5	愛川町	10,538	21,038	50.1
14 鎌倉市	65,930	379.0	大磯町	-4.0	大和市	81.1	大和市	41.3	茅ヶ崎市	66,195	107,627	61.5	座間市	19,306	39,449	48.9
15 山北町	4,209	367.2	横浜市	-4.0	大井町	81.0	横須賀市	41.1	鎌倉市	44,730	72,820	61.4	伊勢原市	19,682	41,319	47.6
16 藤沢市	147,983	356.8	海老名市	-4.8	平塚市	80.8	清川村	41.1	山北町	3,530	5,857	60.3	南足柄市	7,713	16,603	46.5
17 川崎市	507,789	355.0	湯河原町	-5.2	伊勢原市	80.8	平塚市	40.9	中井町	3,031	5,049	60.0	大和市	36,371	78,309	46.4
18 湯河原町	9,246	348.2	二宮町	-6.0	松田町	80.5	山北町	40.8	南足柄市	12,221	20,788	58.8	大磯町	3,701	8,267	44.8
19 大井町	6,000	340.8	相模原市	-6.2	座間市	80.4	大井町	40.3	伊勢原市	28,236	48,978	57.7	逗子市	6,143	14,091	43.6
20 松田町	3,928	337.9	大和市	-6.5	小田原市	80.3	海老名市	40.2	寒川町	13,471	23,376	57.6	川崎市	212,235	511,891	41.5
21 南足柄市	14,488	330.5	平塚市	-6.8	南足柄市	80.3	相模原市	40.1	川崎市	365,955	638,433	57.3	藤沢市	63,588	156,402	40.7
22 相模原市	237,245	330.0	座間市	-6.9	二宮町	80.2	南足柄市	39.6	藤沢市	101,572	187,851	54.1	葉山町	3,047	7,585	40.2
23 大和市	75,894	329.6	鎌倉市	-7.0	中井町	80.1	三浦市	39.5	愛川町	10,465	20,748	50.4	二宮町	2,458	6,311	38.9
24 秦野市	52,150	306.9	横須賀市	-7.1	相模原市	79.8	二宮町	39.5	相模原市	160,587	330,058	48.7	平塚市	39,259	115,834	33.9
25 横須賀市	121,866	293.8	三浦市	-7.4	山北町	79.5	真鶴町	39.4	秦野市	36,745	76,290	48.2	小田原市	28,927	90,206	32.1
26 三浦市	12,909	271.4	綾瀬市	-8.0	厚木市	79.0	中井町	39.2	三浦市	10,903	22,805	47.8	真鶴町	633	2,068	30.6
27 座間市	33,787	260.9	寒川町	-8.3	綾瀬市	79.0	秦野市	39.0	湯河原町	5,465	12,322	44.4	茅ヶ崎市	19,393	64,812	29.9
28 茅ヶ崎市	58,045	245.9	葉山町	-9.1	三浦市	78.6	茅ヶ崎市	39.0	横浜市	697,726	1,703,374	41.0	秦野市	15,946	56,745	28.1
29 大磯町	7,638	232.3	箱根町	-10.2	秦野市	78.3	座間市	38.7	平塚市	49,019	123,967	39.5	湯河原町	2,464	9,469	26.0
30 逗子市	13,241	227.4	南足柄市	-10.9	湯河原町	77.5	厚木市	38.4	厚木市	41,694	106,651	39.1	相模原市	63,074	246,838	25.6
31 葉山町	6,629	202.3	真鶴町	-13.4	真鶴町	76.1	綾瀬市	35.9	横須賀市	68,562	178,757	38.4	横浜市	353,930	1,423,299	24.9
32 真鶴町	1,599	200.1	愛川町	-16.1	愛川町	75.4	寒川町	35.5	小田原市	36,483	96,209	37.9	三浦市	3,844	16,089	23.9
33 二宮町	5,488	187.1	大井町	-23.0	箱根町	73.8	愛川町	33.0	箱根町	1,155	8,463	13.6	横須賀市	32,671	146,534	22.3

3. 将来展望に必要な調査・分析 ～都市間比較データ～

3-2. 産業に関する統計

- 「黒字企業割合」、「製造品出荷額等(人口千対)」、「付加価値額(人口千対)」、「労働生産性」、「年間商品販売額(人口千対)」は、県平均を下回っている。
- 「創業比率(2009～2012年)」は、県内でも3番目に高くなっている。

事業所数(2012) 【単位:事業所】	人口千 対	事業所増減率 (2009～2012) 【%】	黒字企業割合 (2012)【単位:%】	創業比率(09～12 年)【単位:%】	製造品出荷額等 (2012)【単位:百 万円】	人口千 対	製造品出荷額等 増減率(2008～ 2009)【単位:%】	付加価値額(2012) 【単位:百万円】	人口千 対	労働生産性(2012) 【単位:千円/人】	商業年間商品販 売額(2013)【単 位:百万円】	人口千 対											
全国	4,219,845	33.1	全国	-9.3	全国	81.7	全国	1.84	全国	288,727,639	2,264	全国	1.3	全国	243,044,158	1,906	全国	5,016	全国	-	-	-	-
県	287,421	31.7	県	-7.3	県	79.4	県	2.15	県	17,461,302	1,929	県	-2.2	県	11,101,131	1,226	県	4,834	県	16,638,023	1,836		
1 箱根町	1,394	103.6	清川村	-2.2	二宮町	83.8	藤沢市	2.69	寒川町	332,107	7,001	座間市	36.2	箱根町	23,352	1,735	平塚市	6,487	厚木市	904,678	4,026		
2 湯河原町	1,296	48.8	藤沢市	-4.4	開成町	83.4	大和市	2.59	中井町	69,119	6,940	愛川町	29.3	平塚市	433,885	1,669	横須賀市	5,580	愛川町	135,964	3,292		
3 松田町	564	48.5	綾瀬市	-5.3	大磯町	82.5	鎌倉市	2.41	愛川町	272,859	6,563	二宮町	25.6	厚木市	363,959	1,625	厚木市	5,499	伊勢原市	261,984	2,596		
4 中井町	455	45.7	海老名市	-5.5	伊勢原市	82.4	海老名市	2.37	南足柄市	243,178	5,547	湯河原町	18.3	中井町	15,932	1,600	横浜市	5,239	横浜市	8,443,584	2,285		
5 真鶴町	347	43.4	逗子市	-5.7	座間市	82.3	横浜市	2.31	山北町	62,325	5,438	大磯町	14.8	横浜市	5,650,584	1,532	愛川町	4,965	中井町	22,035	2,260		
6 厚木市	9,390	41.9	大磯町	-5.7	大井町	82.2	茅ヶ崎市	2.31	綾瀬市	411,410	4,932	綾瀬市	10.4	愛川町	57,680	1,387	川崎市	4,846	小田原市	360,541	1,835		
7 小田原市	8,151	41.3	開成町	-5.9	海老名市	82.1	相模原市	2.21	平塚市	1,018,928	3,919	山北町	8.9	寒川町	62,814	1,324	寒川町	4,779	三浦市	81,079	1,733		
8 鎌倉市	7,151	41.1	伊勢原市	-6.2	真鶴町	81.9	厚木市	2.17	小田原市	695,138	3,523	大和市	8.5	川崎市	1,767,069	1,235	伊勢原市	4,555	平塚市	447,096	1,727		
9 山北町	464	40.5	茅ヶ崎市	-6.4	大和市	81.1	川崎市	2.05	藤沢市	1,251,634	3,018	藤沢市	5.4	伊勢原市	122,163	1,208	中井町	4,434	海老名市	211,572	1,647		
10 清川村	134	40.1	厚木市	-6.9	南足柄市	81.1	寒川町	2.01	川崎市	4,178,410	2,921	秦野市	4.3	小田原市	230,047	1,166	綾瀬市	4,359	大和市	378,493	1,639		
11 開成町	655	39.9	川崎市	-6.9	藤沢市	80.7	横須賀市	1.98	秦野市	496,101	2,920	寒川町	3.3	横須賀市	644,306	1,119	座間市	4,104	川崎市	2,294,074	1,595		
12 三浦市	1,862	39.1	三浦市	-7.0	湯河原町	80.7	秦野市	1.95	厚木市	621,316	2,773	伊勢原市	3.3	綾瀬市	87,854	1,053	大和市	4,081	座間市	198,817	1,531		
13 愛川町	1,603	38.6	横浜市	-7.2	横須賀市	80.4	小田原市	1.82	伊勢原市	239,685	2,371	鎌倉市	0.9	清川村	3,131	937	秦野市	4,052	綾瀬市	127,651	1,525		
14 寒川町	1,822	38.4	小田原市	-7.4	茅ヶ崎市	80.3	逗子市	1.79	座間市	291,790	2,253	清川村	0.2	山北町	9,727	849	藤沢市	3,942	大井町	25,784	1,480		
15 大井町	672	38.2	真鶴町	-7.5	相模原市	80.0	平塚市	1.69	開成町	36,382	2,217	相模原市	-0.4	海老名市	105,049	820	茅ヶ崎市	3,902	藤沢市	613,800	1,473		
16 平塚市	9,630	37.0	寒川町	-7.5	厚木市	80.0	清川村	1.68	海老名市	283,960	2,216	大井町	-1.3	大和市	184,127	800	開成町	3,881	相模原市	936,126	1,302		
17 伊勢原市	3,744	37.0	中井町	-7.5	平塚市	79.8	中井町	1.66	鎌倉市	366,789	2,108	川崎市	-2.5	開成町	13,122	800	南足柄市	3,783	湯河原町	33,609	1,279		
18 綾瀬市	3,016	36.2	山北町	-7.6	寒川町	79.8	伊勢原市	1.58	清川村	5,764	1,726	中井町	-2.8	藤沢市	319,529	770	海老名市	3,637	開成町	18,093	1,082		
19 大磯町	1,182	35.9	相模原市	-7.7	松田町	79.7	座間市	1.58	相模原市	1,144,787	1,592	平塚市	-2.9	南足柄市	33,573	766	相模原市	3,593	秦野市	50,603	1,066		
20 南足柄市	1,497	34.1	秦野市	-7.8	川崎市	79.6	綾瀬市	1.57	大和市	325,410	1,413	横浜市	-3.0	相模原市	534,122	743	小田原市	3,543	横須賀市	437,980	1,063		
21 二宮町	963	32.8	大和市	-7.9	綾瀬市	79.4	二宮町	1.44	横須賀市	530,301	1,278	小田原市	-3.0	湯河原町	19,489	734	松田町	3,476	鎌倉市	180,331	1,038		
22 大和市	7,503	32.6	鎌倉市	-7.9	逗子市	79.3	葉山町	1.41	横浜市	4,273,633	1,158	海老名市	-4.6	松田町	8,452	727	鎌倉市	3,466	箱根町	11,867	892		
23 横須賀市	13,258	32.0	南足柄市	-8.2	秦野市	78.8	大井町	1.38	茅ヶ崎市	255,376	1,082	開成町	-4.7	鎌倉市	119,673	688	大井町	3,385	秦野市	151,220	891		
24 相模原市	22,873	31.8	平塚市	-8.2	山北町	78.8	南足柄市	1.34	松田町	12,361	1,063	真鶴町	-5.9	秦野市	116,448	685	三浦市	3,382	大磯町	24,523	750		
25 逗子市	1,848	31.7	二宮町	-8.6	三浦市	78.7	湯河原町	1.33	大井町	11,789	670	南足柄市	-6.6	三浦市	31,537	663	山北町	3,277	逗子市	40,333	697		
26 海老名市	4,020	31.4	横須賀市	-9.3	小田原市	78.6	大磯町	1.23	三浦市	12,607	265	松田町	-7.0	茅ヶ崎市	154,861	656	箱根町	3,211	茅ヶ崎市	162,966	689		
27 藤沢市	12,832	30.9	座間市	-10.7	横浜市	78.5	三浦市	1.21	大磯町	6,001	182	箱根町	-7.0	座間市	82,956	641	葉山町	3,158	南足柄市	29,640	677		
28 横浜市	113,152	30.7	湯河原町	-10.9	愛川町	78.1	箱根町	1.18	二宮町	4,879	166	厚木市	-12.1	大磯町	19,301	587	大磯町	3,149	山北町	7,389	657		
29 川崎市	40,525	28.3	葉山町	-11.7	鎌倉市	78.0	開成町	1.07	湯河原町	3,276	123	三浦市	-12.3	大井町	9,609	546	清川村	3,061	二宮町	18,278	626		
30 秦野市	4,775	28.1	愛川町	-12.2	中井町	76.5	真鶴町	1.00	真鶴町	895	112	茅ヶ崎市	-23.6	逗子市	28,752	494	逗子市	2,982	葉山町	18,224	556		
31 葉山町	919	28.0	大井町	-12.3	箱根町	76.4	松田町	0.96	箱根町	1,055	78	横須賀市	-28.3	葉山町	13,836	422	二宮町	2,956	松田町	5,601	485		
32 茅ヶ崎市	6,509	27.6	松田町	-12.4	葉山町	74.4	愛川町	0.91	逗子市	1,342	23	葉山町	-44.4	二宮町	11,389	388	湯河原町	2,914	真鶴町	3,546	454		
33 座間市	3,215	24.8	箱根町	-12.5	清川村	73.3	山北町	0.68	葉山町	696	21	逗子市	-45.4	真鶴町	2,803	351	真鶴町	2,667	清川村	543	163		

3.将来展望に必要な調査・分析 ～都市間比較データ～

3-3. 住環境に関する統計

■ 「総面積(人口千対)」、「可住地面積(人口千対)」は、他都市と比較しても劣位である。

	総面積(北方地域及び竹島を除く)(2013)【単位:k㎡】		人口千対	可住地面積(2013)【単位:km²】		人口千対	居住世帯あり住宅数(2008)【単位:住宅】		人口千対	持ち家数(2008)【単位:住宅】		人口千対	借家数(2008)【単位:住宅】		人口千対	1住宅当たり延べ面積(2008)【単位:m²】		一人当たり固定資産税(2012)【単位:千円】	
	全国	372925.4		2,930	全国		122158.3	0,960		全国	49,598,300		388.4	全国		30,316,100	237.4	全国	17,770,000
県	2416.1	0.267	県	1467.4	0.162	県	3,612,200	405.4	県	2,066,600	231.9	県	1,357,000	152.3	県	-	県	-	
1	清川村	71.3	21.428	山北町	27.5	2.442	川崎市	613,460	446.3	逗子市	17,920	305.8	川崎市	303,420	220.8	南足柄市	112.7	清川村	425.0
2	山北町	224.7	19.979	清川村	7.2	2.152	大和市	93,090	417.0	葉山町	9,340	291.7	大和市	38,120	170.8	大井町	111.6	箱根町	335.7
3	箱根町	92.8	6.976	中井町	13.5	1.380	横浜市	1,490,350	410.4	大磯町	9,090	277.1	厚木市	35,990	159.8	葉山町	109.5	中井町	158.2
4	松田町	37.8	3.266	箱根町	17.0	1.274	厚木市	91,330	405.6	三浦市	13,430	272.8	伊勢原市	16,020	159.1	大磯町	105.1	山北町	95.1
5	中井町	20.0	2.054	松田町	9.3	0.806	相模原市	284,620	403.1	開成町	4,400	272.7	横浜市	559,260	154.0	開成町	104.0	愛川町	90.6
6	南足柄市	76.9	1.757	大井町	11.0	0.631	湯河原町	10,760	397.4	鎌倉市	47,120	271.6	藤沢市	59,220	147.1	二宮町	102.3	大井町	90.4
7	湯河原町	41.0	1.560	南足柄市	24.8	0.566	鎌倉市	68,820	396.7	二宮町	7,890	266.0	湯河原町	3,930	145.2	逗子市	99.4	寒川町	88.8
8	真鶴町	7.0	0.899	三浦市	26.1	0.557	藤沢市	159,400	396.0	横須賀市	111,450	264.7	相模原市	100,420	142.2	三浦市	96.6	厚木市	87.6
9	愛川町	34.3	0.830	愛川町	19.1	0.463	逗子市	23,050	393.3	海老名市	32,040	254.1	秦野市	22,870	135.2	鎌倉市	96.3	南足柄市	87.5
10	大井町	14.4	0.827	真鶴町	3.5	0.451	座間市	49,810	390.5	愛川町	10,550	252.0	座間市	16,520	129.5	愛川町	96.2	開成町	82.7
11	三浦市	32.3	0.690	湯河原町	10.4	0.394	秦野市	65,660	388.3	南足柄市	10,920	246.6	平塚市	33,420	128.5	小田原市	91.9	川崎市	79.8
12	秦野市	103.6	0.611	開成町	6.6	0.392	平塚市	99,780	383.5	湯河原町	6,650	245.6	小田原市	24,990	125.8	湯河原町	90.9	小田原市	76.2
13	小田原市	114.1	0.581	大磯町	11.9	0.364	茅ヶ崎市	87,810	380.2	茅ヶ崎市	56,640	245.2	茅ヶ崎市	28,950	125.3	寒川町	85.6	平塚市	73.6
14	伊勢原市	55.5	0.550	小田原市	71.4	0.363	伊勢原市	38,240	379.7	座間市	30,940	242.6	寒川町	5,580	117.3	伊勢原市	85.1	鎌倉市	73.2
15	大磯町	17.2	0.526	伊勢原市	34.7	0.344	横須賀市	157,430	373.9	秦野市	40,260	238.1	鎌倉市	19,550	112.7	秦野市	84.9	綾瀬市	72.0
16	葉山町	17.1	0.521	厚木市	67.2	0.299	海老名市	47,080	373.4	横浜市	858,200	236.3	綾瀬市	8,470	103.2	横須賀市	84.7	横浜市	71.6
17	相模原市	328.8	0.457	秦野市	49.6	0.292	小田原市	74,040	372.7	綾瀬市	19,080	232.4	海老名市	12,950	102.7	平塚市	84.7	藤沢市	71.2
18	厚木市	93.8	0.418	寒川町	13.2	0.278	三浦市	18,280	371.4	相模原市	162,910	230.7	横須賀市	39,390	93.6	茅ヶ崎市	84.7	大磯町	70.2
19	開成町	6.6	0.392	葉山町	8.3	0.253	葉山町	11,570	361.3	厚木市	51,610	229.2	愛川町	3,630	86.7	綾瀬市	82.9	海老名市	70.0
20	二宮町	9.1	0.311	二宮町	7.3	0.252	愛川町	14,860	354.9	大井町	4,090	228.7	二宮町	2,470	83.3	藤沢市	82.4	伊勢原市	68.2
21	逗子市	17.3	0.300	綾瀬市	20.4	0.244	二宮町	10,430	351.6	藤沢市	91,510	227.4	逗子市	4,810	82.1	海老名市	81.7	湯河原町	67.6
22	寒川町	13.4	0.283	平塚市	62.9	0.243	寒川町	16,640	349.8	平塚市	59,110	227.2	大井町	1,360	76.0	厚木市	78.4	松田町	66.3
23	綾瀬市	22.3	0.266	海老名市	25.7	0.200	綾瀬市	28,400	346.0	寒川町	10,740	225.7	三浦市	3,690	75.0	座間市	77.9	葉山町	65.2
24	平塚市	67.8	0.262	相模原市	139.5	0.194	大磯町	11,320	345.0	小田原市	44,360	223.3	南足柄市	3,240	73.2	相模原市	76.4	真鶴町	64.5
25	横須賀市	100.7	0.244	横須賀市	70.3	0.171	開成町	5,480	339.6	大和市	49,120	220.0	開成町	1,020	63.2	横浜市	74.3	大和市	60.3
26	鎌倉市	39.6	0.228	鎌倉市	26.7	0.154	南足柄市	14,450	326.3	伊勢原市	21,070	209.2	葉山町	2,020	63.1	大和市	70.8	秦野市	60.2
27	海老名市	26.5	0.206	藤沢市	63.6	0.153	大井町	5,710	319.2	川崎市	270,040	196.5	大磯町	2,060	62.8	川崎市	62.8	相模原市	59.4
28	藤沢市	69.5	0.167	逗子市	8.6	0.148	中井町	数値なし	数値なし	中井町	数値なし	数値なし	中井町	数値なし	数値なし	中井町	数値なし	座間市	57.2
29	茅ヶ崎市	35.7	0.151	茅ヶ崎市	32.7	0.138	松田町	数値なし	数値なし	松田町	数値なし	数値なし	松田町	数値なし	数値なし	松田町	数値なし	三浦市	56.1
30	座間市	17.6	0.135	座間市	16.7	0.128	山北町	数値なし	数値なし	山北町	数値なし	数値なし	山北町	数値なし	数値なし	山北町	数値なし	横須賀市	55.6
31	横浜市	437.6	0.118	大和市	25.5	0.110	箱根町	数値なし	数値なし	箱根町	数値なし	数値なし	箱根町	数値なし	数値なし	箱根町	数値なし	逗子市	55.2
32	大和市	27.1	0.117	横浜市	399.5	0.108	真鶴町	数値なし	数値なし	真鶴町	数値なし	数値なし	真鶴町	数値なし	数値なし	真鶴町	数値なし	茅ヶ崎市	54.2
33	川崎市	142.7	0.099	川崎市	136.0	0.095	清川村	数値なし	数値なし	清川村	数値なし	数値なし	清川村	数値なし	数値なし	清川村	数値なし	二宮町	52.1

3.将来展望に必要な調査・分析 ～都市間比較データ～

3-4.社会増減、所得に関する統計

- 鎌倉市は転入超過であり、「社会増減率」は県内でも5番目に高くなっている。
- 鎌倉市の「総所得金額等（納税義務者一人当たり）」は、420万円と全国及び県を大きく上回り、県内で最も高くなっている。

社会増減(2014)					総所得(2014)			
	他市区町村からの転入者数【単位:人】	他市区町村への転出者数【単位:人】	転入超過数(=転入超過)【単位:人】	社会増減率【単位:%】		納税義務者数【単位:人】	総所得金額等【単位:千円】	総所得金額等(納税義務者一人当たり)【単位:千円】
全国	-	-	-	-	全国	55,581,657	174,596,928,614	3,141
神奈川県	411,081.0	398,226.0	12,855	1.4	神奈川県	4,298,314	15,411,494,875	3,585
1 開成町	680	537	143	8.5	鎌倉市	82,927	348,403,259	4,201
2 川崎市	87,397	80,844	6,553	4.5	葉山町	14,725	59,478,378	4,039
3 藤沢市	16,097	14,592	1,505	3.6	逗子市	27,568	109,195,303	3,961
4 寒川町	1,749	1,598	151	3.2	横浜市	1,763,867	6,707,636,028	3,803
5 鎌倉市	6,824	6,282	542	3.1	川崎市	717,490	2,686,775,301	3,745
6 逗子市	2,173	2,020	153	2.6	藤沢市	196,594	723,441,061	3,680
7 茅ヶ崎市	7,817	7,206	611	2.6	大磯町	14,732	53,711,318	3,646
8 大磯町	1,108	1,052	56	1.7	茅ヶ崎市	108,967	380,040,012	3,488
9 相模原市	30,067	28,853	1,214	1.7	海老名市	59,628	200,843,690	3,368
10 横浜市	182,084	176,752	5,332	1.4	二宮町	13,261	44,055,309	3,322
11 大和市	9,887	9,674	213	0.9	大和市	109,717	361,766,360	3,297
12 伊勢原市	4,117	4,033	84	0.8	伊勢原市	46,530	153,285,126	3,294
13 葉山町	1,215	1,189	26	0.8	厚木市	105,146	345,505,427	3,286
14 綾瀬市	3,168	3,144	24	0.3	開成町	7,516	24,688,155	3,285
15 海老名市	5,011	4,982	29	0.2	相模原市	331,830	1,065,583,061	3,211
16 厚木市	8,147	8,322	-175	-0.8	平塚市	117,138	375,197,239	3,203
17 中井町	282	290	-8	-0.8	小田原市	89,495	283,919,603	3,172
18 大井町	604	621	-17	-1.0	秦野市	74,824	232,705,537	3,110
19 山北町	289	301	-12	-1.1	座間市	60,419	186,859,918	3,093
20 小田原市	5,489	5,820	-331	-1.7	横須賀市	190,198	585,921,710	3,081
21 南足柄市	1,307	1,382	-75	-1.7	南足柄市	20,168	61,347,904	3,042
22 秦野市	4,631	4,978	-347	-2.1	綾瀬市	38,028	115,652,017	3,041
23 横須賀市	13,362	14,261	-899	-2.2	寒川町	21,890	66,056,939	3,018
24 平塚市	6,883	7,460	-577	-2.2	大井町	7,750	23,376,977	3,016
25 二宮町	859	925	-66	-2.3	清川村	1,452	4,291,956	2,956
26 座間市	5,170	5,516	-346	-2.7	松田町	5,336	15,715,645	2,945
27 湯河原町	941	1,015	-74	-2.8	中井町	4,498	12,874,348	2,862
28 松田町	420	453	-33	-2.9	山北町	5,167	14,730,123	2,851
29 箱根町	911	961	-50	-3.8	三浦市	20,932	59,202,048	2,828
30 真鶴町	175	230	-55	-7.2	愛川町	19,090	51,896,922	2,719
31 三浦市	1,059	1,392	-333	-7.2	真鶴町	3,419	9,281,481	2,715
32 愛川町	1,071	1,421	-350	-8.6	湯河原町	11,281	30,529,361	2,706
33 清川村	87	120	-33	-10.0	箱根町	6,731	17,527,359	2,604

3.将来展望に必要な調査・分析 ～都市間比較データ～

3-5. 世帯に関する統計

- 「核家族世帯割合」は、県平均の59.3%に対して、65.3%と高くなっている。「3世代世帯割合」は、川崎市、横浜市、藤沢市に次いで、県内で4番目に低くなっており、核家族化の傾向にある。

	核家族世帯割合 (2010)【単位：%】	単独世帯割合 (2010)【単位：%】	3世代世帯割合 (2010)【単位：%】	未婚女性のうち単 独世帯割合 (2010)【単位：%】	未婚男性のうち単 独世帯割合 (2010)【単位：%】	6歳未満世帯員の いる一般世帯割合 (2010)【単位：%】	12歳未満世帯員 のいる一般世帯割 合(2010)【単 位：%】	15歳未満世帯員 のいる一般世帯割 合(2010)【単 位：%】	18歳未満世帯員 のいる一般世帯割 合(2010)【単 位：%】
全国	56.3	32.4	7.1	14.9	20.3	9.4	16.3	19.7	23.1
県	59.3	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
1 葉山町	70.5	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
2 二宮町	68.6	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
3 逗子市	68.2	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
4 綾瀬市	67.4	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
5 大磯町	67.2	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
6 茅ヶ崎市	67.1	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
7 開成町	66.5	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
8 寒川町	65.8	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
9 鎌倉市	65.3	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
10 海老名市	65.2	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
11 横須賀市	64.5	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
12 大井町	64.3	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
13 南足柄市	63.1	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
14 中井町	63.0	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
15 三浦市	62.9	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
16 愛川町	62.4	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
17 清川村	61.9	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
18 座間市	61.4	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
19 藤沢市	61.3	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
20 平塚市	61.2	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
21 横浜市	60.2	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
22 真鶴町	59.6	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
23 伊勢原市	59.3	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
24 小田原市	59.0	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
25 山北町	58.7	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
26 大和市	58.7	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
27 相模原市	58.6	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
28 厚木市	57.9	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
29 秦野市	57.6	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
30 松田町	57.2	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
31 湯河原町	55.0	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
32 川崎市	51.7	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7
33 箱根町	35.0	33.8	3.7	15.6	26.0	9.5	16.4	19.6	22.7

3. 将来展望に必要な調査・分析 ～都市間比較データ～

3-6. 就学前の保育・教育機関数、在所・在園者数に関する統計

- 保育所数(人口千対)、「保育所入所待機児童数(人口千対)」、「保育所在所児数(人口千対)」は、ほぼ県平均となっている。
- 「幼稚園数(人口千対)」、「幼稚園在園者数(人口千対)」は、全国及び県平均を上回っている。

保育所数(2012) 【単位:施設】		人口千 対	保育所入所待機 児童数(2012)【単 位:人】		人口千 対	保育所在所児数 (2012)【単位:人】		人口千 対	幼稚園数(2013) 【単位:園】		人口千 対	幼稚園在園者数 (2013)【単位:人】		人口千 対
全国	-	-	全国	22,741	0.18	全国	-	-	全国	13,043	0.102	全国	1,583,610	12.4
県	1,079	0.12	県	1,462	0.16	県	103,144	11.4	県	724	0.080	県	141,407	15.6
1 中井町	3	0.30	葉山町	30	0.92	中井町	256	25.7	箱根町	4	0.301	葉山町	907	27.7
2 清川村	1	0.30	茅ヶ崎市	174	0.74	開成町	305	18.6	清川村	1	0.301	二宮町	719	24.6
3 真鶴町	2	0.25	藤沢市	277	0.67	箱根町	225	16.7	山北町	3	0.267	伊勢原市	2,300	22.8
4 箱根町	3	0.22	大和市	147	0.64	湯河原町	421	15.9	松田町	2	0.173	綾瀬市	1,813	21.7
5 湯河原町	5	0.19	座間市	43	0.33	小田原市	2,996	15.2	大井町	3	0.172	鎌倉市	3,186	18.3
6 山北町	2	0.17	逗子市	18	0.31	平塚市	3,695	14.2	二宮町	5	0.171	大和市	3,948	17.1
7 愛川町	6	0.14	川崎市	438	0.31	南足柄市	610	13.9	葉山町	5	0.153	藤沢市	7,080	17.0
8 座間市	18	0.14	綾瀬市	17	0.20	山北町	156	13.6	南足柄市	6	0.137	川崎市	23,204	16.1
9 小田原市	27	0.14	愛川町	8	0.19	真鶴町	101	12.6	鎌倉市	23	0.132	横須賀市	6,584	16.0
10 川崎市	187	0.13	寒川町	9	0.19	寒川町	577	12.2	真鶴町	1	0.128	海老名市	2,046	15.9
11 横浜市	475	0.13	相模原市	132	0.18	相模原市	8,691	12.1	大磯町	4	0.122	相模原市	11,376	15.8
12 平塚市	33	0.13	海老名市	21	0.16	伊勢原市	1,211	12.0	平塚市	28	0.108	横浜市	58,427	15.8
13 開成町	2	0.12	鎌倉市	27	0.16	鎌倉市	2,056	11.8	綾瀬市	9	0.108	茅ヶ崎市	3,709	15.7
14 南足柄市	5	0.11	伊勢原市	14	0.14	厚木市	2,629	11.7	中井町	1	0.103	清川村	50	15.0
15 大井町	2	0.11	平塚市	30	0.12	逗子市	679	11.7	伊勢原市	10	0.099	寒川町	711	15.0
16 秦野市	19	0.11	小田原市	18	0.09	横浜市	42,533	11.5	愛川町	4	0.097	大井町	261	15.0
17 鎌倉市	19	0.11	横須賀市	34	0.08	川崎市	16,384	11.5	横須賀市	39	0.095	座間市	1,945	15.0
18 伊勢原市	11	0.11	厚木市	18	0.08	藤沢市	4,717	11.4	秦野市	16	0.094	平塚市	3,641	14.1
19 相模原市	78	0.11	秦野市	6	0.04	秦野市	1,894	11.1	逗子市	5	0.086	大磯町	444	13.6
20 茅ヶ崎市	25	0.11	大磯町	1	0.03	愛川町	445	10.7	藤沢市	35	0.084	愛川町	555	13.4
21 二宮町	3	0.10	横浜市	0	0.00	茅ヶ崎市	2,490	10.5	小田原市	16	0.081	厚木市	2,872	12.8
22 海老名市	13	0.10	三浦市	0	0.00	座間市	1,347	10.4	厚木市	18	0.080	松田町	139	12.0
23 厚木市	22	0.10	南足柄市	0	0.00	大井町	179	10.2	横浜市	286	0.077	開成町	189	11.3
24 藤沢市	39	0.09	二宮町	0	0.00	海老名市	1,288	10.1	湯河原町	2	0.076	三浦市	478	10.2
25 横須賀市	38	0.09	中井町	0	0.00	横須賀市	3,740	9.0	相模原市	54	0.075	南足柄市	447	10.2
26 松田町	1	0.09	大井町	0	0.00	清川村	30	9.0	大和市	17	0.074	秦野市	1,732	10.2
27 逗子市	5	0.09	松田町	0	0.00	綾瀬市	748	9.0	茅ヶ崎市	17	0.072	逗子市	563	9.7
28 三浦市	4	0.08	山北町	0	0.00	三浦市	401	8.4	座間市	9	0.069	小田原市	1,735	8.8
29 綾瀬市	7	0.08	開成町	0	0.00	二宮町	246	8.4	三浦市	3	0.064	山北町	79	7.0
30 大和市	17	0.07	箱根町	0	0.00	大和市	1,631	7.1	寒川町	3	0.063	中井町	61	6.3
31 寒川町	3	0.06	真鶴町	0	0.00	葉山町	216	6.6	海老名市	8	0.062	湯河原町	120	4.6
32 葉山町	2	0.06	湯河原町	0	0.00	大磯町	216	6.6	開成町	1	0.060	箱根町	56	4.2
33 大磯町	2	0.06	清川村	0	0.00	松田町	31	2.7	川崎市	86	0.060	真鶴町	30	3.8

3.将来展望に必要な調査・分析 ～都市間比較データ～

3-7 教育機関数、生徒数に関する統計

■ 鎌倉市の「中学校生徒数(人口千対)」は、県内で2番目に高く、「高等学校生徒数(人口千対)」は県内で4番目に高くなっている。

	小学校数(2013) 【単位:校】		人口千対		小学校教員数 (2013)【単位:人】		人口千対		小学校児童数 (2013)【単位:人】		人口千対		中学校数(2013) 【単位:校】		人口千対		中学校教員数 (2013)【単位:人】		人口千対		中学校生徒数 (2013)【単位:人】		人口千対		高等学校数 (2013)【単位:校】		人口千対		高等学校生徒数 (2013)【単位:人】		人口千対	
	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	県
1	清川村	2	0.60	清川村	21	6.3	開成町	1,112	66.5	清川村	2	14.9	清川村	23	6.9	逗子市	2,155	37.2	山北町	1	0.089	松田町	1,426	123.4								
2	箱根町	5	0.38	箱根町	59	4.4	大井町	1,142	65.6	山北町	3	6.5	山北町	42	3.7	鎌倉市	6,389	36.8	松田町	1	0.087	山北町	587	52.2								
3	山北町	3	0.27	山北町	46	4.1	綾瀬市	4,916	58.7	松田町	2	3.5	松田町	37	3.2	大井町	595	34.2	箱根町	1	0.075	逗子市	2,460	42.5								
4	中井町	2	0.21	大井町	70	4.0	海老名市	7,465	58.1	大磯町	4	3.4	箱根町	34	2.6	藤沢市	13,169	31.6	逗子市	4	0.069	鎌倉市	6,802	39.1								
5	松田町	2	0.17	開成町	56	3.4	藤沢市	24,189	58.1	真鶴町	1	2.9	逗子市	146	2.5	愛川町	1,275	30.9	開成町	1	0.060	大井町	639	36.7								
6	大井町	3	0.17	綾瀬市	276	3.3	鎌倉市	9,900	57.0	逗子市	5	2.7	中井町	24	2.5	開成町	505	30.2	鎌倉市	10	0.058	開成町	562	33.6								
7	三浦市	8	0.17	松田町	38	3.3	寒川町	2,686	56.6	鎌倉市	16	2.2	真鶴町	19	2.4	南足柄市	1,224	28.0	大井町	1	0.057	小田原市	6,451	32.8								
8	愛川町	6	0.15	中井町	32	3.3	茅ヶ崎市	13,221	55.9	中井町	1	2.2	愛川町	98	2.4	厚木市	6,181	27.5	三浦市	2	0.043	伊勢原市	3,310	32.8								
9	南足柄市	6	0.14	南足柄市	143	3.3	葉山町	1,796	54.8	葉山町	2	2.2	鎌倉市	400	2.3	綾瀬市	2,293	27.4	藤沢市	15	0.036	藤沢市	12,566	30.2								
10	小田原市	26	0.13	愛川町	132	3.2	厚木市	12,318	54.8	茅ヶ崎市	14	2.2	大磯町	73	2.2	海老名市	3,513	27.3	小田原市	7	0.036	二宮町	813	27.9								
11	真鶴町	1	0.13	厚木市	680	3.0	愛川町	2,234	54.1	三浦市	4	2.1	南足柄市	92	2.1	大磯町	893	27.3	二宮町	1	0.024	横須賀市	11,404	27.7								
12	大磯町	4	0.12	三浦市	141	3.0	南足柄市	2,358	53.9	二宮町	2	2.1	大井町	36	2.1	中井町	265	27.2	横須賀市	13	0.032	大磯町	825	25.2								
13	葉山町	4	0.12	葉山町	97	3.0	平塚市	13,809	53.4	南足柄市	3	2.0	三浦市	93	2.0	寒川町	1,286	27.1	平塚市	8	0.031	平塚市	6,293	24.3								
14	開成町	2	0.12	伊勢原市	298	3.0	中井町	515	52.8	横須賀市	26	2.0	開成町	33	2.0	茅ヶ崎市	6,310	26.7	大磯町	1	0.031	厚木市	5,418	24.1								
15	綾瀬市	10	0.12	小田原市	575	2.9	伊勢原市	5,297	52.5	藤沢市	25	1.9	厚木市	412	1.8	伊勢原市	2,685	26.6	伊勢原市	3	0.030	相模原市	16,927	23.5								
16	湯河原町	3	0.11	寒川町	136	2.9	横浜市	190,831	51.6	秦野市	9	1.9	二宮町	53	1.8	大和市	6,116	26.5	相模原市	20	0.028	綾瀬市	1,882	22.5								
17	横須賀市	47	0.11	鎌倉市	498	2.9	相模原市	37,023	51.5	愛川町	3	1.9	寒川町	86	1.8	小田原市	5,197	26.5	厚木市	6	0.027	横浜市	80,141	21.7								
18	鎌倉市	19	0.11	海老名市	364	2.8	大和市	11,805	51.1	座間市	6	1.9	横須賀市	743	1.8	横須賀市	10,892	26.4	大和市	6	0.026	寒川町	965	20.3								
19	平塚市	28	0.11	平塚市	733	2.8	横須賀市	20,802	50.5	相模原市	40	1.7	葉山町	59	1.8	松田町	304	26.3	横浜市	91	0.025	茅ヶ崎市	4,788	20.2								
20	厚木市	24	0.11	横須賀市	1,161	2.8	大磯町	1,642	50.2	平塚市	16	1.7	綾瀬市	148	1.8	相模原市	18,841	26.2	愛川町	1	0.024	大和市	4,577	19.8								
21	寒川町	5	0.11	大和市	648	2.8	小田原市	9,866	50.2	綾瀬市	5	1.7	藤沢市	722	1.7	横浜市	96,453	26.1	綾瀬市	2	0.024	南足柄市	865	19.8								
22	相模原市	75	0.10	相模原市	1,977	2.7	川崎市	72,198	50.2	寒川町	3	1.6	小田原市	338	1.7	二宮町	753	25.8	海老名市	3	0.023	座間市	2,565	19.8								
23	逗子市	6	0.10	横浜市	9,962	2.7	秦野市	8,457	49.8	小田原市	13	1.6	座間市	282	1.7	座間市	3,335	25.7	海老名市	3	0.023	海老名市	2,506	19.5								
24	二宮町	3	0.10	大磯町	88	2.7	逗子市	2,867	49.5	横浜市	180	1.6	平塚市	426	1.6	平塚市	6,634	25.6	南足柄市	1	0.023	三浦市	781	16.7								
25	海老名市	13	0.10	湯河原町	70	2.7	座間市	6,373	49.1	開成町	1	1.5	大和市	378	1.6	秦野市	4,307	25.4	茅ヶ崎市	5	0.021	秦野市	2,720	16.0								
26	伊勢原市	10	0.10	逗子市	154	2.7	二宮町	1,379	47.3	海老名市	6	1.5	相模原市	1,161	1.6	箱根町	328	24.7	寒川町	1	0.021	川崎市	22,854	15.9								
27	横浜市	355	0.10	藤沢市	1,100	2.6	箱根町	620	46.6	大井町	1	1.5	茅ヶ崎市	375	1.6	山北町	272	24.2	秦野市	3	0.018	愛川町	652	15.8								
28	藤沢市	37	0.09	茅ヶ崎市	620	2.6	清川村	147	44.2	箱根町	2	1.4	海老名市	200	1.6	葉山町	781	23.8	川崎市	25	0.017	箱根町	170	12.8								
29	大和市	20	0.09	川崎市	3,731	2.6	三浦市	2,014	43.0	川崎市	57	1.4	座間市	202	1.6	真鶴町	181	23.2	葉山町	0	0.000	葉山町	0	0.0								
30	座間市	11	0.08	二宮町	75	2.6	松田町	485	42.0	厚木市	13	1.4	横浜市	5,744	1.6	三浦市	1,084	23.2	中井町	0	0.000	中井町	0	0.0								
31	茅ヶ崎市	20	0.08	真鶴町	20	2.6	湯河原町	1,088	41.4	大和市	10	1.3	伊勢原市	154	1.5	川崎市	32,581	22.6	真鶴町	0	0.000	真鶴町	0	0.0								
32	川崎市	117	0.08	座間市	329	2.5	山北町	463	41.2	伊勢原市	4	1.1	湯河原町	37	1.4	湯河原町	592	22.5	湯河原町	0	0.000	湯河原町	0	0.0								
33	秦野市	13	0.08	秦野市	430	2.5	真鶴町	262	33.6	湯河原町	1	0.8	川崎市	1,967	1.4	清川村	72	21.6	清川村	0	0.000	清川村	0	0.0								

3. 将来展望に必要な調査・分析 ～都市間比較データ～

3-8. 通学者の流入・流出人口に関する統計

■通学者(15歳以上)の「流入率」は74.9%(鎌倉市に通学する9,274人のうち、6,946人が他市町村からの通学者)、通学者(15歳未満)の「流入率」は22.3%(鎌倉市に通学する14,598人のうち、3,289人が他市町村からの通学者)となっている。通学者(15歳以上)の「流入率」は県内で4番目に高く、通学者(15歳未満)の「流入率」は県内で2番目に高くなっている。

通学者(15歳以上)の流出(2010)				通学者(15歳以上)の流入(2010)				通学者(15歳未満)の流出(2010)				通学者(15歳未満)の流入(2010)				
	他市町村で通学する者	当地に常住する通学者	流出率		他市町村に常住する者	当地で通学する者	流入率		他市町村で通学する者	当地に常住する通学者	流出率		他市町村に常住する者	当地で通学する者	流入率	
1	清川村	126	137	92.0	松田町	887	988	89.8	逗子市	595	4,300	13.8	箱根町	283	997	28.4
2	葉山町	1,389	1,519	91.4	山北町	467	577	80.9	葉山町	310	2,697	11.5	鎌倉市	3,289	14,598	22.5
3	中井町	430	480	89.6	逗子市	2,127	2,670	79.7	鎌倉市	974	12,104	8.0	逗子市	841	4,621	18.2
4	湯河原町	1,004	1,126	89.2	開成町	369	479	77.0	川崎市	7,711	99,019	7.8	藤沢市	2,668	33,500	8.0
5	真鶴町	327	369	88.6	鎌倉市	6,946	9,274	74.9	真鶴町	35	490	7.1	伊勢原市	343	8,047	4.3
6	開成町	721	818	88.1	大磯町	665	962	69.1	大和市	976	16,955	5.8	大磯町	100	2,438	4.1
7	松田町	525	599	87.6	二宮町	704	1,023	68.8	横浜市	15,554	276,044	5.6	川崎市	3,255	96,008	3.4
8	逗子市	2,369	2,743	86.4	大井町	348	512	68.0	茅ヶ崎市	1,057	18,824	5.6	大和市	489	16,677	2.9
9	大磯町	1,403	1,635	85.8	伊勢原市	4,145	6,237	66.5	大磯町	137	2,465	5.6	横浜市	6,426	271,109	2.4
10	山北町	558	656	85.1	綾瀬市	1,756	2,771	63.4	二宮町	111	2,206	5.0	相模原市	1,172	52,746	2.2
11	三浦市	1,852	2,209	83.8	平塚市	14,214	22,496	63.2	座間市	473	9,532	5.0	真鶴町	10	470	2.1
12	大井町	709	850	83.4	藤沢市	15,109	24,668	61.2	湯河原町	87	1,796	4.8	湯河原町	37	1,751	2.1
13	二宮町	1,316	1,586	83.0	箱根町	143	247	57.9	藤沢市	1,369	31,909	4.3	松田町	15	798	1.9
14	南足柄市	1,779	2,155	82.6	小田原市	5,195	9,341	55.6	相模原市	2,159	53,109	4	平塚市	364	19,937	1.8
15	座間市	5,373	6,521	82.4	南足柄市	517	951	54.4	中井町	31	775	4.0	清川村	3	211	1.4
16	寒川町	1,848	2,261	81.7	厚木市	8,756	16,289	53.8	三浦市	125	3,208	3.9	小田原市	180	14,867	1.2
17	箱根町	347	428	81.1	海老名市	1,765	3,302	53.5	海老名市	383	10,239	3.7	葉山町	29	2,426	1.2
18	海老名市	5,000	6,184	80.9	大和市	3,009	6,163	48.8	小田原市	522	15,142	3.4	横須賀市	326	30,475	1.1
19	鎌倉市	6,178	7,911	78.1	茅ヶ崎市	3,562	7,484	47.6	松田町	26	805	3.2	座間市	87	9,260	0.9
20	大和市	8,343	10,695	78.0	寒川町	467	1,000	46.7	横須賀市	991	30,862	3.2	茅ヶ崎市	157	18,095	0.9
21	綾瀬市	2,858	3,669	77.9	三浦市	390	839	46.5	綾瀬市	213	6,635	3.2	三浦市	27	3,141	0.9
22	愛川町	1,489	1,981	75.2	相模原市	16,394	37,292	44.0	伊勢原市	249	7,928	3.1	中井町	6	759	0.8
23	秦野市	9,060	12,106	74.8	座間市	1,250	2,917	42.9	厚木市	522	17,935	2.9	綾瀬市	50	6,530	0.8
24	茅ヶ崎市	8,648	11,906	72.6	秦野市	2,305	5,864	39.3	秦野市	355	12,408	2.9	二宮町	15	2,118	0.7
25	伊勢原市	4,231	6,121	69.1	川崎市	19,620	50,211	39.1	南足柄市	103	3,643	2.8	大井町	9	1,744	0.5
26	川崎市	47,168	70,540	66.9	横須賀市	4,683	14,820	31.6	大井町	46	1,776	2.6	厚木市	52	17,564	0.3
27	藤沢市	14,476	22,632	64.0	横浜市	49,942	162,850	30.7	平塚市	513	20,013	2.6	海老名市	27	9,952	0.3
28	小田原市	6,133	9,871	62.1	愛川町	201	761	26.4	箱根町	18	731	2.5	開成町	4	1,482	0.3
29	相模原市	22,350	40,821	54.8	中井町	20	85	23.5	開成町	37	1,506	2.5	山北町	2	763	0.3
30	横須賀市	9,677	18,808	51.5	葉山町	26	197	13.2	寒川町	88	3,789	2.3	秦野市	31	12,150	0.3
31	厚木市	6,656	13,739	48.4	真鶴町	5	51	9.8	清川村	4	212	1.9	南足柄市	8	3,557	0.2
32	平塚市	7,337	15,290	48.0	湯河原町	4	162	2.5	山北町	12	771	1.6	愛川町	7	3,419	0.2
33	横浜市	90,546	191,280	47.3	清川村	0	13	0.0	愛川町	33	3,438	1.0	寒川町	5	3,733	0.1

3.将来展望に必要な調査・分析 ～都市間比較データ～

3-9. 出生・結婚に関する統計

- 「合計特殊出生率」は県平均を0.09ポイント下回り、また、男女の「平均初婚年齢」が県平均より高くなるなど、劣位になっている。鎌倉市の「合計特殊出生率」は1.19となっており、全国平均の1.43、県平均の1.28を下回っている。
- 「平均初婚年齢」は、男性で32.7歳、女性で30.9歳と、全国平均、県平均を上回っている。

	合計特殊出生率 (2013)	平均初婚年齢(男性) (2013)【単位:%】	平均初婚年齢(女性) (2013)【単位:%】	20歳未満の子ども のいる世帯で、 「子どもが1人」の 割合(2010)【単位:%】	20歳未満の子ども のいる世帯で、 「子どもが2人」の 割合(2010)【単位:%】	20歳未満の子ども のいる世帯で、 「子どもが3人」の 割合(2010)【単位:%】	世帯主が20～49 歳の夫婦世帯で、 子どものない世帯 の割合(2010) 【単位:%】
全国	1.43	全国	30.9	全国	-	全国	-
県	1.28	県	31.3	川崎市	39.7	松田町	54.9
1 開成町	1.68	綾瀬市	29.5	綾瀬市	27.6	鎌倉市	37.4
2 大和市	1.41	山北町	29.6	愛川町	27.8	横濱市	36.9
3 綾瀬市	1.41	南足柄市	29.9	真鶴町	27.8	葉山町	36.3
4 茅ヶ崎市	1.41	真鶴町	30.1	大井町	27.9	逗子市	36.1
5 寒川町	1.37	寒川町	30.2	三浦市	28.2	県	35.8
6 藤沢市	1.37	三浦市	30.2	南足柄市	28.3	大和市	35.8
7 逗子市	1.34	中井町	30.3	開成町	28.6	箱根町	35.6
8 伊勢原市	1.33	愛川町	30.4	平塚市	28.7	藤沢市	35.4
9 海老名市	1.32	開成町	30.6	横須賀市	28.8	座間市	35.0
10 川崎市	1.30	平塚市	30.8	山北町	28.8	相模原市	33.8
11 南足柄市	1.29	湯河原町	30.8	座間市	28.8	茅ヶ崎市	33.8
12 座間市	1.28	横須賀市	30.9	厚木市	28.9	大磯町	33.4
13 横須賀市	1.28	大井町	30.9	二宮町	28.9	海老名市	33.2
14 厚木市	1.28	小田原市	31.0	湯河原町	29.0	二宮町	32.2
15 横浜市	1.27	秦野市	31.0	中井町	29.0	伊勢原市	32.1
16 平塚市	1.25	海老名市	31.0	秦野市	29.1	小田原市	32.0
17 山北町	1.25	厚木市	31.0	海老名市	29.1	平塚市	31.9
18 秦野市	1.25	川崎市	31.2	大和市	29.1	開成町	31.7
19 小田原市	1.24	相模原市	31.2	相模原市	29.1	厚木市	31.7
20 葉山町	1.24	伊勢原市	31.2	松田町	29.1	綾瀬市	31.7
21 相模原市	1.24	藤沢市	31.2	小田原市	29.2	横須賀市	31.4
22 二宮町	1.19	大和市	31.4	寒川町	29.2	湯河原町	31.1
23 愛川町	1.19	横濱市	31.4	伊勢原市	29.2	秦野市	30.9
24 鎌倉市	1.19	座間市	31.5	藤沢市	29.6	寒川町	29.5
25 大磯町	1.18	箱根町	31.5	清川村	29.6	南足柄市	28.8
26 真鶴町	1.17	茅ヶ崎市	31.9	横濱市	29.6	大井町	28.8
27 湯河原町	1.12	二宮町	32.1	川崎市	29.6	真鶴町	28.1
28 三浦市	1.09	大磯町	32.3	茅ヶ崎市	29.8	愛川町	27.5
29 松田町	1.09	松田町	32.5	箱根町	29.9	三浦市	27.4
30 大井町	0.97	鎌倉市	32.7	大磯町	29.9	清川村	25.8
31 清川村	0.84	清川村	33.3	葉山町	30.5	中井町	25.8
32 箱根町	0.74	逗子市	33.3	鎌倉市	30.9	松田町	25.2
33 中井町	0.74	葉山町	33.7	逗子市	31.0	山北町	21.8
						箱根町	45.2
						川崎市	12.7
						山北町	9.2

3. 将来展望に必要な調査・分析 ～都市間比較データ～ 資料 各データの説明

(※1)「地域経済分析システム (RESAS (リーサス))」のデータ

(※2)「統計でみる市区町村のすがた2015」のデータ

大分類	統計データ	出典	備考
1. 就業	従業者数(2012)	国勢調査(※1)	当該企業又は事業所に所属して働いている全ての人をいう。したがって、他の会社などの別経営の事業所へ派遣している人も含まれる。一方、当該事業所で働いている人であっても、他の会社などの別経営の事業所から派遣されているなど、当該事業所から賃金・給与(現物給与を含む。)を支給されていない人は従業者に含めない。 なお、個人経営の事業所の家族従業者は、賃金・給与を支給されていなくても従業者とする。
	従業者数増減率(2009～2012)	国勢調査(※1)	
	正規雇用割合(男性)(2010)	国勢調査(※1)	
	正規雇用割合(女性)(2010)	国勢調査(※1)	
	従業者の流出(2010)	国勢調査	流出人口比率=流出人口/常住人口×100
	従業者の流入(2010)	国勢調査	流入人口比率=流入人口/常住人口×100
2. 産業	事業所数(2012)	国勢調査(※1)	
	事業所増減率(2009～2012)	国勢調査(※1)	
	黒字企業割合(2012)	国勢調査(※1)	営業利益ベースでの、黒字企業と赤字企業の割合を表している。
	創業比率(09～12年)	国勢調査(※1)	創業比率とは、「[1]新設事業所(又は企業)を年平均にならした数」の「[2]期首において既に存在していた事業所(又は企業)」に対する割合であり、[1]/[2]で表される。
	製造品出荷額等(2012)	国勢調査(※1)	
	製造品出荷額等増減率(2008～2009)	国勢調査(※1)	
	付加価値額(2012)	国勢調査(※1)	付加価値額とは、企業等の生産活動によって新たに生み出された価値のことで、生産額から原材料等の中間投入額を差し引くことにより算出でき、以下の計算式を用いている。 売上高－費用総額(売上原価＋販売費及び一般管理費)＋給与総額＋租税公課 なお、国民経済計算の付加価値額と異なり固定資本減耗分が含まれていない。
	労働生産性(2012)	国勢調査(※1)	付加価値額÷従業者数で表される。
商業年間商品販売額(2013)	総務省「商業統計調査」(※2)	1年間の商業事業所における有体商品の販売額をいい、消費税額を含む。	
3. 住環境	総面積(2013)	総務省「全国都道府県市区町村別面積調」(※2)	
	可住地面積(2013)	総務省「全国都道府県市区町村別面積調」(※2)	可住地面積は、総面積から林野面積と主要湖沼面積を差し引いて算出。
	居住世帯あり住宅数(2008)	総務省「住宅・土地統計調査結果」(※2)	ふだん人が居住している住宅で、調査日現在当該住居に既に3か月以上にわたって住んでいるか、あるいは調査日の前後を通じて3か月以上にわたって住むことになっている場合をいう。
	持ち家数(2008)	総務省「住宅・土地統計調査結果」(※2)	そこに居住している世帯が全部又は一部を所有している住宅 最近建築、購入又は相続した住宅で、登記がまだ済んでいない場合や、ローンなどの支払が完了していない場合も含まれる。また、親の名義の住宅に住んでいる場合も含まれる。
	借家数(2008)	総務省「住宅・土地統計調査結果」(※2)	そこに居住している世帯以外の者が所有又は管理している住宅
	1住宅当たり延べ面積(2008)	総務省「住宅・土地統計調査結果」(※2)	各住宅の床面積の合計をいう。
	一人当たり固定資産税(2012)	総務省「地方財政状況調査」(※1)	

3.将来展望に必要な調査・分析 ～都市間比較データ～ 資料 各データの説明

大分類	統計データ	出典	備考
4. 社会増減、所得	社会増減(2014)	総務省「住民基本台帳人口移動報告」	社会増減数=転入数-転出数 社会増減率:1年間の社会増減数/人口×1000
	総所得(2014)	総務省「市町村税課税状況等の調」(※2)	
5. 世帯	核家族世帯割合(2010)	国勢調査	
	単独世帯割合(2010)	国勢調査	
	3世代世帯割合(2010)	国勢調査	
	未婚女性のうち単独世帯割合(2010)	国勢調査	
	未婚男性のうち単独世帯割合(2010)	国勢調査	
	6歳未満世帯員のいる一般世帯割合(2010)	国勢調査	
	12歳未満世帯員のいる一般世帯割合(2010)	国勢調査	
	18歳未満世帯員のいる一般世帯割合(2010)	国勢調査	
6. 就学前の保育・教育機関数、在所・在園者数	保育所数(2012)	厚生労働省「社会福祉施設等調査報告」	
	保育所入所待機児童数(2012)	厚生労働省「保育所入所待機児童数調査」	調査時点において、入所申込みが提出されており、入所要件に該当しているが、入所していない者をいう。
	保育所在所児数(2012)	厚生労働省「社会福祉施設等調査報告」	保育所に在所(籍)している者をいう。
	幼稚園数(2013)	文部科学省「学校基本調査報告書」	
	幼稚園在園者数(2013)	文部科学省「学校基本調査報告書」	3歳未満の者を含まない在園者数。
7. 教育機関数、生徒数	小学校数(2013)	文部科学省「学校基本調査報告書」	
	小学校教員数(2013)	文部科学省「学校基本調査報告書」	
	小学校児童数(2013)	文部科学省「学校基本調査報告書」	
	中学校数(2013)	文部科学省「学校基本調査報告書」	
	中学校教員数(2013)	文部科学省「学校基本調査報告書」	
	中学校生徒数(2013)	文部科学省「学校基本調査報告書」	
	高等学校数(2013)	文部科学省「学校基本調査報告書」	
	高等学校生徒数(2013)	文部科学省「学校基本調査報告書」	

3. 将来展望に必要な調査・分析 ～都市間比較データ～ 資料 各データの説明

大分類	統計データ	出典	備考
8. 通学者の 流入・流出人 口	通学者(15歳以上)の流出(2010)	国勢調査	流出入口比率=流出入口/常住人口×100
	通学者(15歳以上)の流入(2010)	国勢調査	流入人口比率=流入人口/常住人口×100
	通学者(15歳未満)の流出(2010)	国勢調査	流出入口比率=流出入口/常住人口×100
	通学者(15歳未満)の流入(2010)	国勢調査	流入人口比率=流入人口/常住人口×100
9. 結婚・出生	合計特殊出生率(2013)	厚生労働省「人口動態統計調査」	15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。
	平均初婚年齢(男性)(2013)	神奈川県「衛生統計年報統計表」	
	平均初婚年齢(女性)(2013)	神奈川県「衛生統計年報統計表」	
	20歳未満の子どものいる世帯で、「子どもが1人」「子どもが2人」「子どもが3人以上」の割合	国勢調査	「子どものいない世帯」とは、世帯主の年齢が20～49歳で、家族類型が「夫婦のみ世帯」、「夫婦と両親から成る世帯」、「夫婦とひとり親から成る世帯」、「夫婦と他の親族(親、子供を含まない)から成る世帯」及び「夫婦、親と他の親族(子を含まない)」の世帯。各年代の「子どものいない世帯」が世帯総数(「非親族世帯」と「単独世帯」を除く)に占める割合。
	世帯主が20～49歳の夫婦世帯で、子どものいない世帯の割合(2010)	国勢調査	